

# 登山時報

2021年7月15日発行(毎月15日発行)  
1987年3月23日第三種郵便物承認  
ISSN 1880-4993

## 8 北アルプス縦走3編

2021 No.558






# 国際山岳連盟（UIAA）の 待望の日本語訳！ 登山技術スタンダード

ISBN978-4-944014-18-7  
C2475 W2000E

9784944014187


1922475020002




このハンドブックは、自らのスキルと知識を深めて活動領域を拡大したいと考えるハイカー・クライマー、登山者のためのものである。もともと国際山岳連盟傘下の山岳組織・山岳会の指導者やリーダー候補生のための参考書として編纂された本書は、主として夏季の活動に重点を絞り、基礎知識、アルパインハイキング、クライミング、アルピニズムの段階からなっている。このハンドブックは、試行の上安全が確認された技術を提供することを目的としている。こうした技術は資格を持つ講師の開催する正式な講習によってのみ伝授され身につけられるべきである。

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会 創立60周年記念事業土版

日本労働者山岳連盟 日本山岳・スポーツクライミング協会と共同で発行されました。

With the technical and financial support of the  Fondation


登山技術スタンダード アルパイン



登山技術スタンダード アルパイン

監訳 藤田 隆雄

総合登山技術ハンドブック 夏季 アルパイン



**登山教育を優先しよう**

登山の世界の限界を押し広げようとしているみなさんがリスクと適切に向き合えるようにお手伝いができることを嬉しく思っています。


みなさんが生涯すばらしい冒険を続けられますことを祈ります。


(H.L.F.R.) 29

ベツル財団会長 ホール・ベツル

創立 **60** 周年

1960-2020



 **日本勤労者山岳連盟**

**記念出版**

代金は2,200円×冊数（税・送料込み）になります。  
下記の口座に振込みをお願いします。

振込先（郵便振替口座）  
00160-1-152812 日本勤労者山岳連盟中央登山学校

※銀行ATMから振り込むときは  
銀行名＝ゆうちょ銀行 支店名＝〇一九（ゼロイチキョウ）  
預金種目＝当座預金 口座番号＝0152812  
口座名義＝ニホンキンロウシャサンガクレンメイチュウオウトザンガッコウ

※振込日とお届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号などをメールまたはFAXなどでお知らせください。確認できしだい約一週間内にお届けします。

日本勤労者山岳連盟・事務局

TEL03-3260-6331 FAX03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp  
フリーダイヤル0120-44-2742（平日10～18時）  
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

国際山岳連盟が登山の世界スタンダードとして発行している技術書が日本語に翻訳されました。発行元は（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会ですが、日本勤労者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は労山国際部長・大和田英子理事です。ぜひ労山会員に広く普及してください。



## メコノプシス・ベトニキフォリア

中国雲南省麗江市老君山 標高 3800m

## 中国の青いケシ 探訪記

—雲南省編⑥—

写真・文 松永秀和

マーク・トウェインの児童向け文学作品に「王子と乞食」がある。姿がそっくりの王子と乞食が入れ替わって引き起こすドタバタ劇であるが、これと似た物語が青いケシの世界にもある。

この作品が発表された数年後、フランス人宣教師デラバイが雲南省麗江近くで青いケシを採取し、本国に送る。1889年フランシエによりメコノプシス・ベトニキフォリアとして発表された。種名はシソ科のベトニー(カウチヨロギ)の葉に似ていることによる。

それから四半世紀後、英国将校バイレー大佐がチベットで青いケシを採取。大佐の名を取ってメコノプシス・バイレイと命名される。数年後、キングドン・ウォードがこの種子を大量に収穫して本国に送ると、英国の気候と合ってよく発芽し、ヒマラヤン・ブルー・ポピーとして、英国庭園を席卷した。

しかし、その後雲南から本種の標本が送られて来て比較できるようになると、二種は同種とされ、バイレイはベトニキフォリアに名を変えられた。このため、英国の園芸業界は大混乱となり、いくつもの名が乱立した。

この混乱は、2009年グレイ・ウィルソンにより二種は別種とされて終止符が打たれたが、その決め手は表からは見えない根の違い(ベトニキフォリアは匍匐根)であった。

# 白い稜線と花畑を行く

折立・雲ノ平から水晶岳・烏帽子岳・船窪岳をへて蓮華岳・扇沢へ



白い砂れきを野口五郎岳の山頂へ

## 北アルプス縦走

### 水晶小屋での空一面の夕焼け

折立を発って樹林帯の太郎坂の急登を2時間歩くと稜線に出る。ニッコウキスゲが群生する草原の尾根を緩やかに上り、3時間で太郎平に到着。薬師沢への道に入ると登山者が急に減る。花の草原と樹林帯を交互に通過していく楽しい下り道である。沢を横切るたびに水を被って、暑



水晶小屋での素晴らしい夕焼け

さも気にならない。薬師沢小屋は沢沿いで水が豊富で楽である。

2日目は、岩の多い湿った樹林帯で虫に刺されながら、急登3時間で雲ノ平末端のアラスカ庭園に到着。樹林帯を抜け、奥日本庭園を過ぎ、祖母岳に登ると広々とした雲ノ平が一望できる。雲ノ平小屋で休憩後、スイス庭園に寄ると高天原が眼下に見下ろせる。祖父岳からは稜線歩きになり気分が良い。岩苔乗越への下りで雪田があり、雪を帽子につめて歩いた。涼しい。水晶小屋は混んでいて一畳に二人であつたが、なんといつても夕焼けが素晴らしかった。

### コマクサの道に白い稜線歩き

3日目は早朝に出発し、霧の中で水晶岳に登頂後、小屋に戻り休憩。東沢乗越に急下降し、大岩を縫う歩きづらい稜線を真砂分岐へ進む。真砂岳を左から巻くと、いたるところにコマクサが見られる。緩やかな砂れき

堀井栄治 品川山の会 さんかくてん／東京





東沢乗越から水晶小屋方面を振り返る



針ノ木雪渓を下り、長い長い縦走を終えた

が困難なこと、昨年（2018年）の雨で登山道や崖にある水場の崩壊が激しく維持が難しいことなど、貴重な話を聞くことができた。

今山行で最後の登りだ。針ノ木小屋付近は人で一杯である。小屋で簡易アイゼン（500円）を借り、急なつづら折りを下る。針ノ木雪渓は雪が柔らかく滑りやすかったが、1時間程で登山道に上がった。大沢小屋でアイ

の斜面をゆるゆると登ると、広々とした野口五郎岳山頂に着いた。コマクサの道を下り、野口五郎小屋を通り、三ッ岳に登り返す。1時間ほどで烏帽子小屋に到着。小屋は空いていたが、予約なしのためか前夜に続き夕食はカレーライス。

の右手不動沢側は全て白ザレで沢まで数百メートル崩れている。ここで滑落すると沢下まで止まらない。ザレ場は岩斜面に砂がのっているのが滑りやすい。花崗岩の白い崖が延々と続く景観は凄いい迫力で、この稜線の魅力かもしれない。山頂のはっきりしない船窪岳を越えて、乗越から針ノ木谷への下降路が分岐。急登を登り切り船窪小屋に到着。タルチヨを飾った小屋では鐘を鳴らして歓迎、小屋前で名物の山菜天ぷらとお茶を馳走になる。2017年に引退した松沢寿子夫妻の息子さんが偶然来ていて、東邦航空が撤退しへり輸送

沢谷・湿原・稜線・雪渓  
変化に富んだ山行

鐘に送られ30分で七倉岳に着、霧で展望なし。七倉乗越に降り北葛岳山頂へ、前方には針ノ木岳がそびえる。前日より道は歩きやすい。350mほど急下降して北葛乗越、蓮華の大下り（登り500m）にかか

ゼンを返し、1時間程でアルペンルートに出て、ゴールの扇沢バスターミナルに到着した。今山行は、曇りがちで遠望が利かなかったが、涼しい山行になった。終始花を見ながらの白い稜線を行く変化に富んだ山行を楽しんだ。

2019年7月30日～8月3日

- 1日目＝折立～太郎平～薬師沢小屋
- 2日目＝薬師沢小屋～雲ノ平～祖父岳～水晶小屋
- 3日目＝水晶岳～東沢乗越～野口五郎岳～三ッ岳～烏帽子小屋
- 4日目＝烏帽子岳～南沢岳～不動岳～船窪岳～船窪小屋
- 5日目＝七倉岳～北葛岳～蓮華岳～針ノ木峠～扇沢





薬師岳を越えスゴ乗越小屋に向かう 間山から下る途中

## 北アルプス縦走

### 夏山集中山行

本稿は2019年7月下旬に行われた「杉並山の会」の夏山集中山行の記録である  
(写真提供：江頭恭子)

# 折立から太郎山へ

# 五色ヶ原へ室堂へ

五十嵐和子 杉並山の会／東京

### 14人が集結して始まる

3つのコースに参加する14人全員が、朝、富山駅南口に集合した。現地集合としたので駆けつけ方は事情に応じて様々だ。2台の大型タクシーで6時に出

発し、7時過ぎに折立登山口に到着した。太郎坂と呼ばれる急登が続く樹林帯を抜け、暑い陽を浴びながら歩くと、昼近くに太郎平小屋に到着した。今日は全員がここに泊まり、明日からの山行に備える。布団1人1枚。

### インナーまで濡れた雨天山行

今日からそれぞれのコースに分かれる。我々8名は6時に出発。曇りで眺望がない。薬師峠、薬師平を経て、8時頃薬師岳山荘に到着した。雨が激しくなり、雨用ズボンもはく。薬師岳に登る途中、薬師岳チームとすれ違つて、ハイタッチ！ 皆元気！ 9時17分薬師岳着。ガスで全く



ザラ峠から五色ヶ原と山荘 後景は鷲山



見えない。記念撮影を済ませさつさと移動。

激しい雨がインナーまで沁み、雨具の下にもう一枚着込み、体温で服を乾かした。貴重な体験だ。11時頃北薬師岳に到着。相変わらず眺望なし。12時29分に間山。ガスの中をひたすら歩き、写真を撮る余裕もない。

ようやく泥道の先にスゴ乗越小屋が現れ、13時41分に到着した。乗越小屋はネパール風でトイレは木の香りがした。料理も美味しい。皆でビール缶潰し大会、そして就寝。

### 標高2500mの天空の花園へ

朝4時に起き、5時に朝食。白米とみそ汁が美味しい。自炊のIさんも一緒に食堂で。アットホームな良い小屋だ。6時に出発、テント場を越え針葉樹の森を下る。スゴ乗越を過ぎ、スゴノ頭をいったん下ってからが今日一番の厳しい急な登りだ。滑りやすく、岩がごろごろしてい

る。10時過ぎに越中沢岳に登頂。

しばし休憩。今日最後のピーク、鳶山への途中、黄色や白、ピンク、紫色の見事な高山植物に出会う！ 鳶山に着くとガスが晴れ五色ヶ原の溶岩台地全景が眼下に現れた。五色ヶ原山荘も見える。東側には赤牛岳や黒部湖も見える。ここからはコバイケソウやチングルマ、ハクサンイチゲの大群生の中、整備された木道をゆつくりと写真を撮りながら五色ヶ原山荘に向かう。1時過ぎ到着。期待していた風呂はないが、部屋はゆつたりして、そこから雄山山頂も見えた。

### 急峻な鬼岳と雪渓を超えて

昨夜の天気予報によると、午前中は晴れとのこと。しかし、山荘を5時55分に出発しザラ峠を過ぎ、獅子岳に登る途中で、ガスが立ち込めてきて青空は消えた。でも、きつい登りを過ぎ、もうすぐ頂上という辺りでクロユリがいくつも咲いていて嬉しくなった！

鬼岳は東側を巻いた。何箇所か大きな雪渓が残っていたが、アイゼンなしで渡れた。龍王岳は頂上こそ踏まなかったが、結構な登りで、目印のペンキが分

からず皆でルートファインディングする箇所もあった。ガスの中、雷鳥を見つけたが、すぐにハイマツの中に消えた。11時頃

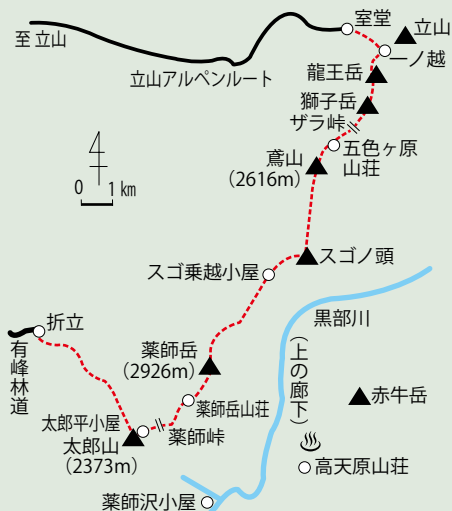
一ノ越山荘に着くと辺りの様子は一変した。遠足の子供たちがいっぱいいて観光地の様相になってきた。室堂平までの道は広い石畳で人々が行き交い、雪渓もまだ残っていた。みくりが池温泉で13時までゆつくりと入浴した。室堂から美女平、ケーブルカー、富山地方鉄道等乗り継いで富山まで行き、駅前で海鮮丼や地酒で反省会をし、帰途についた。



ハクサンイチゲの群生地



クロユリの花



2019年7月27日～30日

- 1日目＝富山駅～折立登山口～太郎平小屋
- 2日目＝太郎山～薬師峠～薬師岳～スゴ乗越小屋
- 3日目＝スゴノ頭～鳶山～五色ヶ原山荘
- 4日目＝獅子岳～龍王岳～一ノ越山荘～室堂

# 山を楽しむ 写真講座

Vol.4  
写真は光と影の芸術

写真・文 宮本宏明

写真を撮るときに光をうまく利用することで、写真の仕上がりがワンランクアップします。「写真は光と影の芸術」ともいわれ

ますが、今回は光の条件、光の取り扱い方により写真のイメージがどのように変わるかを解説します。

## 光の方向による効果

被写体に当たる光（太陽）の位置（図1）により、写真がどのように変化するかを説明します。

### 順光（作例1）

カメラの真後ろに太陽がある状態です。影ができないため立体感が乏しいベタツとした印象になりますが、色が鮮やかで綺麗な写真になります。



作例1 順光

### 斜光（作例2）

カメラの斜め後ろに太陽がある状態です。被写体に適度な影ができ、立体感のある自然な表現に適しており、最も撮影しやすい条件です。



作例3 サイド光

### サイド光（作例3）

カメラの真横に太陽がある状態です。はっきりコントラストがつき、険しい山の表現に適しています。

### 半逆光（作例4）

カメラの斜め前に太陽がある

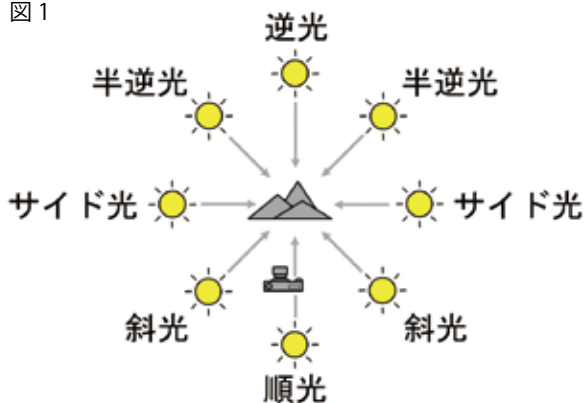


作例2 斜光



作例4 半逆光

図1





状態です。影の部分が多くなり、明暗がはっきりしたシンブルな表現になります。雪面、雲、岩の表面の質感描写に適しています。

### 逆光（作例5）

カメラの正面に太陽がある状態です。シンブルで力強い表現になります。白とび、黒つぶれが起きやすく、露出にシビアな判断が求められます。



作例5 逆光

### トップライト（作例6）

太陽がほとんど真上にある状態です。サイド光のように大きな影はできませんが、植物や小石などあらゆるものが地面に影



作例6 トップライト

を落としているため、順光よりも質感、立体感が生まれ、シャープな印象の写真になります。

山での撮影ではスタジオ撮影のように光源（太陽）を移動させることはできませんが、自分が移動したり被写体を選ぶことにより光と被写体の位置関係を変えることができます。条件を整うのをひたすら待つだけでなく、「写真は足で撮る」という心がけが大切です。

### 様々な光を生かす

【作例7】雲間からの光と影により立体感が際立ち、山の奥深さを



作例7

を感じさせる作品になりました。



作例8

ました。



作例9

【作例8】半逆光により影となつた森から主役の木が浮かび上がり、紅葉のきらめきを表現でき

【作例9】逆光により空を暗く落とし、樹氷の輝きを表現しました。

## 8月 のワンポイント

最も手軽に登山を楽しめるのが夏山ですが、思い描いたような晴天に終始することは意外に少なく、日が高くなるにつれてガスが湧き、午後にはわか雨や雷雨に見舞われることもよくあります。そのような時は山小屋に到着してホッと一息。美味しい夕食の後はゆっくり寛ぎたいところですが、外はまだ明るいので、ぜひ外に出てみてください。夕日に輝く雲がダイナミックに躍動する光景に出会えるかもしれません。

日没を見届けると多くの登山者は小屋に入ると思いますが、まだまだドラマは続きます。夕焼けは日没の15分くらい後にクライマックスを迎えます。

日没前後の刻々と変化する自然の表情を、時間の許す限り味わいたいものです。





原田勇成の

# 白神便り

| 第48回 |

## 魚泊りの滝

「魚止め」ではなく、「魚泊りの滝」。笹内川本流にかかる最大の滝だ。とはいえ、落差は約25mだから、それほど高いわけではないが、どこか品がある。それもそのはず、水源は白神岳。ブナの森が育むこの上ない水なのだから。

車を降りてすぐに右岸へ渡り、壊れた道路を登る。最高峰の崩壊斜面が現れたら、それが三ツ目沢。大きな岩の堆積地を下り、本流へ降りる。なだらかな流れを進むと20分で右岸から四ツ目沢が合流する。ここから右岸は世界自然遺産地域となり、さらに上流へほんの数分、左岸から双暗沢（さうあんざわ）が合わされば、その先は完全な遺産地域となる。穏やかだったはずの流れはこの先から表情を変える。兩岸は切れ落ち、川幅が一気に狭まる。雪の多い年には8月末までスノー

ブリッジが残ることもある。左岸がすつぱりと切れ落ち、一枚岩の壁となれば、魚泊りの滝はすぐそこ。正面から合流するのは支流の滝ノ沢。流れに導かれて左に進めば目的の滝だ。

写真は8月のもの。滝の落ち口に陽が当たるとはあるが、全体に光が差すことはない。完全に北を向き、独特の雰囲気醸す。何度この滝の前に立っただろう。白神岳へ登るため、マイタケを採るため、美しい黄葉が広がる滝の上の台地を撮るため。私が今まで一番多く歩いた場所であることは間違いない。何をすることも、どこを目指すにも、この滝は通らなければならぬ通学路のようなもの。これからも長い付き合いが続く。



# 登山時報

2021 **8** No.558

表紙写真：宮本宏明

## 「盛夏の北岳」

北岳稜線は日本最高所の縦走路。高山植物も豊富で、沢山の花を愛でながら爽快な縦走を楽しむことができる。中白峰山で朝の撮影を終えて北岳山荘へ向かう途中、足元の可憐なタカネツメクサがそよ風に震えていた。



### CONTENTS

- 01 連載 **中国の青いケシ探訪記** 松永秀和
- 02 **北アルプス縦走**
  - 折立・雲ノ平から水晶岳・烏帽子岳・船窪岳をへて蓮華岳・扇沢へ 堀井栄治
  - 折立から太郎山～五色ヶ原～室堂へ 五十嵐和子
- 06 連載 **山を楽しむ写真講座** 宮本宏明
- 08 連載 **白神便り** 原田勇成
- 10 ふみあと
- 11 連載 **子づれ山さんぼ** 武井真理
- 12 **北アルプス縦走** 北アルプス・裏銀座に行く 大路富美子
- 14 全国機関誌会議の開催報告について
- 16 大阪府連、1998-2020年の事故事例を分析 後編 中川和道
- 20 連載 「山の本」から見えてくる登山(クライミング)の歴史 田上千俊
- 22 連載 **アドベンチャー・トラベル** 大蔵喜福
- 24 連載 **山登りのための やさしい気象講座** 野尻英一
- 26 連載 **ネパール温泉紀行** 石原裕一郎
- 27 **ブックエンド**
- 28 **専門委員会活動報告**
- 31 **全国連盟の活動**
- 32 **マンガ** フウフウ ハアハア 村松孝一
- 33 **インタビュー** ひと 村田浩一さん
- 34 連載 **地図読み迷人** 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 36 連載 **会・クラブ紹介** 山岳同人・五色の峰
- 38 **ミニガイド** 臥牛山(岡山) 盛重忠行
- 39 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう / あらかると 石井光造
- 40 連載 **オススメ山道具** 笹原芳樹



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク(大豆油インク)を使用しています。

## 安全を重視した登山計画で 山歩きを楽しもう

昨年の山岳遭難の発生状況を警察庁が発表した（6月17日）。発生件数2294件（前年比マイナス237件）、遭難者2697人（同240人）、うち死亡・行方不明者278人（同21人）だった。過去10年間の遭難発生状況は増加基調だったが、コロナ禍で一昨年から2年連続減少した。

年齢別の遭難者の状況を見ると、70歳代が全体の23・6%、60代が18・9%、50代が16・5%で、50〜70代が約60%を占めている。年齢別の死亡・行方不明者は、70代が43・5%、60代が24・8%、80代が13・3%で、60〜80代で約73%を占めている。

高齢者の遭難対策として、「行ったことがある山域だから大丈夫」ではなく、登山者の体力に合った山域・登山計画をたてることだ。また、単独登山者の遭難者が非常に多い。遭難者は1086名で全体の40・3%、死亡・行方不明者は172名で約62%を占めている。単独登山者の場合、重大事故を起こしても、助けてくれる人、救助要請してくれる人がいない場合が多く、重大事故になることから、単独登山を避けること。昨年10月、長野県警が「登山の行方不明者」8人（登山会員も含む）を発表したが、全て単独登山者である。

（浦添嘉徳／日本勤労者山岳連盟 理事長）



# 子ごれ 山さんぽ<sup>®</sup> やま

## こどもサイズのデイバック

ノースフェイス「スモールデイ」 ¥8,250 (税込)

未就学児～小学校低学年くらいまでを対象とした、デイバック。容量 15L。この年齢のこどもの、山さんぽのみならず、登園、旅行、帰省などにも使えます。

このサイズ以外にも、ノースフェイスでは、こどもの年齢に応じた、幅広いサイズのデイバックを出しています。これより小さい容量も大きい容量のものもあり、成長、用途に応じて選ぶことができます。

小さいけれど、つくりは本格派。仕切りや各種ポケットも充実、チェストベルトにはホイッスル付き、ウエストベルトは使わないときは収納できたり…こどもの ID 情報を入れて置けるスペースも。

通っている保育園では、園指定の登園鞆はなく、年少(3～4歳)クラスになると、「保育園で使うもの(タオルやコップ等)を、肩掛けバッグかリュックに入れて、こども自身で持ってくるように。サイズは、年長の遠足などでも使うので、大きめサイズを」との指示がありました。また、秋には初めての遠足があったので、そのタイミングで購入しました。

年少になるまでの登園では、保育園で使うものは、親が全部持ち、こどもはカラ身でしたが、4歳ともなると、荷物を自分で背負って歩けるようになり、自分で準備もできるようになっていきました。小さくとも、こういう力が備わっているのだなと思いました。

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ

峻 2018年7月生まれ



毎日の登園では、これぐらいの荷物を自分で背負います。手拭きタオル、口拭きタオル、コップ、着替えなど。



購入当時4歳3ヶ月、身長101cm。まだちょっと大きいです。遠足のときは、お弁当や水筒を背負い、自分で歩きました。



6歳目前、身長112cm。あっという間に、ちょうどよいサイズに！



うちにあるのは2019年秋冬モデル。白地にくまさん柄。色柄は、毎シーズン変わってしまうので、好みのものを見つけたら買いです。出産祝い、お誕生日祝いなどにも！





# 夏山シーズン到来！ 北アルプス・裏銀座を行く

大路富美子 西淀川勤労者山岳会／大阪

## 北アルプス縦走

1日で標高差1600m！  
高瀬ダムから野口五郎岳

5・30に七倉山荘前よりタクシーで高瀬ダムへ向かった。登山口から北アルプス三大急登の一つであるブナ立尾根をひたすら登る。立札12番から始まり、0番の烏帽子小屋まで続く。

登山口は標高1330m、これから目指す野口五郎岳が2924m。標高差1600mを一気に登ることになる。

ブナ立尾根では途中がスって眺望はなかったが、登るにつれ高山植物も現れ、ダケカンバの林もきれいだ。10時過ぎに烏帽子小屋に到着した。キャンプ場からヒョウタン池を過ぎ、三ツ岳への登りは白砂の登山道で、コマクサが点在して咲き誇っている。ちなみにコマクサを見たのは初めてだ。ライチョウの親子づれにも出会えた。

三ツ岳を巻いて、細かい



白砂に映えるコマクサ (三ツ岳への登り)

アップダウンを繰り返して稜線を進む。西側には赤牛岳がどっしりと構えている。その向こうに水晶岳がガスに見え隠れしている。

しかし、野口五郎小屋は遠い。いくつピークを越しても小屋は見えてこない。やっと青い屋根が見えたときはホッとしました。

夜半は激しい風雨で眠れなかった。台風がこちらへと向かっているらしい。翌朝、水晶岳を



あきらめて来た道を下山した。

### 前週のリベンジで水晶岳へ 百名山も達成

翌週、新穂高温泉から北アルプスのへそ・水晶岳を目指す。前週のリベンジだ。

ワサビ平に前泊した翌朝5時前に出発し、水流の豊富な沢や濁沢をいくつか越えながら登っていくと、鏡平小屋に到着。ガスっていて「逆さ槍」は見られなかった。

双六小屋で少し休み、今日の宿である三俣山荘をめざす。今回は双六岳、三俣蓮華岳は巻き、見事なお花畑が広がる中をひたすら進んだ。三俣山荘は平日だと

いうのに2畳に3人の混みようだった。

翌日、5時前に出発。これでもかというほど沢を下り、黒部川水源地標を経て、急坂を登って岩苔乗越へ。ここからは緩やかな登りになるが、水晶岳はま

だ遠い。水晶小屋少し手前の稜線にチョウノスケソウが咲いていた。チョウノスケソウは、チングルマとよく似ているが、葉が違う。

水晶小屋に荷物をデポし、眺望を楽しみながら稜線を行く。ハシゴを越えてからは岩場になり、ついに山頂へ。狭いが、黒部五郎岳、鷲羽岳、槍ヶ岳、笠ヶ岳などの北アルプスのそうそうたる山々が見渡せた。

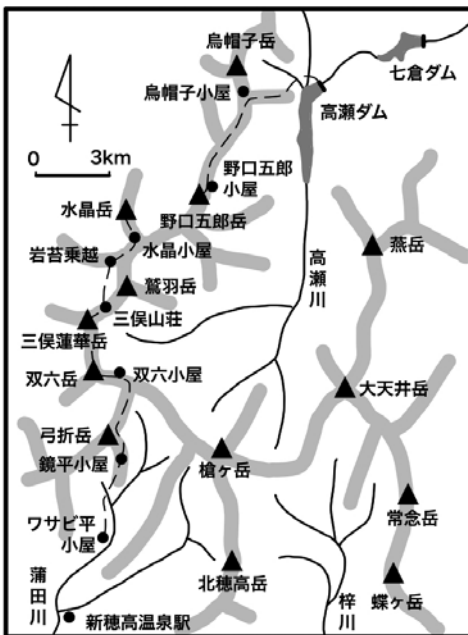
ちなみに、水晶岳が百名山の100座目になり、思い出深い山行になった。



水晶小屋付近からの水晶岳



水晶岳山頂にて



#### ① 2019年7月26日～27日

- 1日目=七倉山荘泊
- 2日目=5:45 高瀬ダム～6:02 烏帽子岳登山口～10:07 烏帽子小屋～11:43 三ツ岳～14:11 野口五郎小屋～野口五郎岳
- 3日目=5:10 野口五郎小屋～8:40 烏帽子小屋～11:47 高瀬ダム

#### ② 7月30日～8月2日

- 1日目=ワサビ平小屋泊
- 2日目=4:46 ワサビ平小屋～8:12 鏡平小屋～10:51 双六小屋～14:01 三俣山荘
- 3日目=4:41 三俣山荘～6:46 岩苔乗越～8:44 水晶岳山頂～12:29 三俣山荘～16:12 双六小屋
- 4日目=4:51 双六小屋～6:48 鏡平小屋～9:34 ワサビ平小屋～11:00 新穂高温泉

パーティ=大路富美子、大路隆之

# 全国機関誌会議の開催報告について 来年2月の総会に向けて、機関誌検討委員会ですpecific提案を

機関誌会議は冒頭、今野メディア局長の挨拶に始まり、浦添理事長から「全国機関誌会議への理事会報告」がなされた後、地方連盟からの参加者ひとり一人に意見を聞いてまわった。

道央・早坂さんは、道央連盟のニュースをPDFで配信しているが、会員の半分は紙での配布を希望していると話した。このようにPDF配信普及について、長野県、岐阜県、兵庫県、香川県、岡山県、京都府などから実情が紹介された。

千葉・野田さんは、登山時報・労山ニュース・メールニュースの3媒体を登山時報にまとめる。そして、機関誌なら全員配付にすべきだと話した。同じ意見は宮城・赤間さんからも出された。

岐阜・長沢さんは、登山時報は機関誌なので全員配付が基本だが、1ページも目を通さない人もいるだろうからどうやったら読んでもらえるのか、という課題を挙げた。

奈良・水田さんは、機関誌は

## 機関誌会議開催の背景

2015年第31回総会が出された「労山組織基本問題調査会報告」の答申にそって、全国理事会は「購読率25%、購読部数5千部」を目標に掲げて活動を進めてきたが、2020年は著しく減少した。2016年2月号は2781部、2018年2月号は2893部だったが、2020年10月号は2373部となり、この4年間で約430部の減少（約150万円の減額）をもたらし、2015年一般会計から機関誌会計への投入額は120万円だったが、2021年では300万円と膨れ上がっている。



Zoomによる会議も当たり前になった

コロナ禍における山行活動の低迷があったとはいえ、3000部の回復はおろか、逆に減少傾向の一途をたどっている。理由は第一に会員の減少、特に購読していた会員が高齢化で退会していくことが挙げられる。2番目には、山行活動の低迷と会・クラブで集会が行われずに、購読推進の機会が失われていることである。こうしたことから、現在の有料購読者は2300名弱で、購読者は会員数の約13%というのが実情である。

## 地方連盟からの発言

ニュース・会報はPDF化・メール配信が主流に



会運営に携わる人にとつては有益だが、それは一部の人に限られる。全員配付したからといって全員に読んでもらうのは難しく、読み物としての意味合いもある。内容を含味する必要があるので、コロナ禍で全員集まる機会がないので、登山時報を会員に届けられなくなっている、と話した。

兵庫・蟹沢さんは、登山時報の内容は素晴らしいが、若い人や新入会員は組織を嫌う傾向があり、山にのみ関心があると発言した。

京都・西村さんは、所属会などではコロナ禍で機関誌はPDF配信が普通になったことを、福島・村松さんは、ネット環境が全員整っているわけではないので紙媒体がよいと話した。

PDF配信をすると購読者が減少するが、一定の品質を保つためには製作・人件費は必要経費だ。経費について、印刷・配送費用と製作・人件費とは分けて検討すべきで、「経費節減」が

主目的でPDF配信を行うとうまくいかないとの意見が出された(高知・中田さん)。

岡山・谷川さんは、登山時報の形態について、紙媒体は20ページの白黒版、PDF配信はカラー版として両方を製作し、PDF版の印刷は各会に一任してもいいという案を述べた。

広島・香川さんは、紙とPDFにはそれぞれメリット・デメリットがある、県連理事は登山時報に対する意識はあまり高くないし、内容が難しいこともあり親しみに欠けると話した。

香川・市原さんは、登山時報を機関誌と位置づけているなら組織的な内容を扱っているページは少ないし、読み物として捉えても完成度がないので、会員は登山時報が機関誌という認識はないだろうと話した。

宮城・赤間さんは、登山時報は立派な雑誌だがハードルが高い、ホームページに掲載されてもそこまで意識・関心もないのを見ないだろうと話した。

香川・前田さんは、香川県連は登山時報の購読率が30%と高いのは、新入会員への働きかけを行なっているからだ。義理でも購読をお願いしている。取り組みを緩めると、すぐに購読率は下がってしまうと述べた。

静岡・竹本さんは、登山時報は会によって全員購読と自由購読とに分かれている。読んでいる人は登山行事への関心が高いようだと話した。

### 討議のまとめ

参加者から50回の発言がありその内容をまとめると、一番多かったのは、登山時報・登山ニュース・全国連盟メールニュースの3つの媒体を統合してほしいという発言だ。2点目は、PDF配信を促進してほしいこと。

3点目は、印刷・配送費用を削減することで発行の経費をかなり圧縮できるのではないかとということ。4点目は、機関誌だから登山時報は無料配布にするのが

妥当ではないかということだった。

登山時報は日本勤労者山岳連盟のホームページで全部をPDF閲覧できる(3カ月遅れで公開しているのは有料購読者との差別化のため)。また、登山ニュースも1号から最新号まで同じくホームページでPDF公開している。

### 今後の流れ

機関誌のあり方として、電子媒体と紙媒体、発行回数、有償化と無償化の是非などの諸問題を「機関誌検討委員会」で検討して、具体的な方針を来年の総会に提案することになった。検討委員会メンバーには、全国理事に加えて地方連盟から香川・市原さん、長野・古川さん、奈良・水田さん、岡山・谷川さんが参加して、検討を進めていく。

機関誌検討委員会に参加してもいいという読者の方は、日本勤労者山岳連盟(電話・03-3260-16331またはメール:jwaf@jwaf.jp)にご連絡ください。

# 山岳事故を減らすために

## 「事故防止は仲間の知恵で」

大阪府連、1998 — 2020年の事故事例を分析

後編

中川和道 大阪府勤労者山岳連盟 事故事例編さん委員長

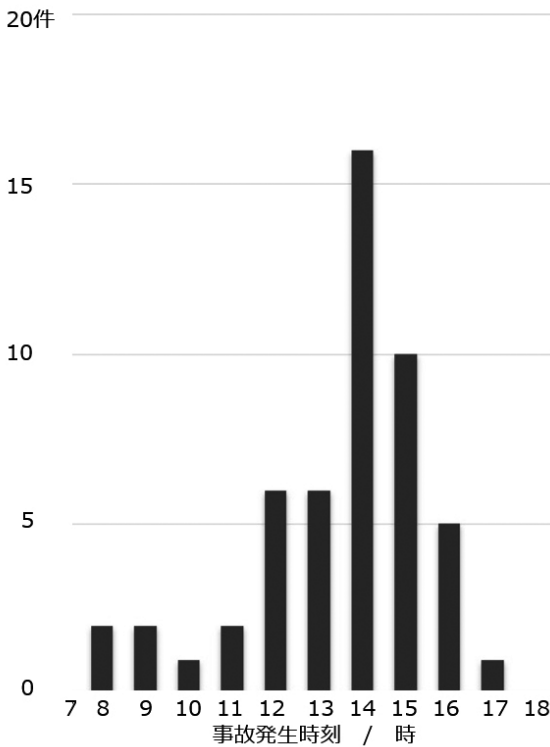


図6 登山道下山中の事故 57 件の発生時刻

### 8. 事故の発生時刻

登山道下山中の事故が多く発生し、主にハイキング系の仲間たちがその事故に遭っていることを前号で述べた。

前号図4の登山道下山中の事故57件の発生時刻を図6に示す。図6において8時、9時などの事故は、朝から下山をはじめた間もなく発生した事故と思われる。図6で顕著なのは14時（定義は13:30—14:30）、15時に見

られる極大で、下山時の事故の多さを如実に物語る。

青山千彰先生による先行研究「文献1」では、「1日の予定コースにおける事故発生過程」を調べ、127件の回答中43件が1日行程の後半3/4のタイミングで事故を起こしたとの報告があった。久保田賢次氏の研究「文献2」でも同様の結果が報告された。本書での分析は、文献1、文献2の視点とは異なるものの、互いに補完しあい強い関連を示

す有意義な結果となった。

### 9. ハイキング系の事故

本号では、次に、前号図2の事故全体195件のうち80件を占めるハイキング系の仲間の事故を色々な角度から分析する（本書P45）。

ここでハイキング系の定義は、ハイキング、ピークハント、縦走、バリエーション（無雪）の合計である。まず、ハイキングとは、日帰り、手を使うのは限られた場所でのみ、軽登山靴で十分、ほとんどが無雪期、との特徴をもとに分類した。ピークハントとは、ハイキングよりもう少し登山の要素を高めたもので、ピークひとつを目標とする。往路と復路が同じものや異なるものがある。ほとんどが日帰りであるが、小屋泊まりもあり、無雪期を前提として分類した。縦走（無雪）とは、ピークとピークを結んで行われる登山で、夏だけでなく冬季であっても雪がなく凍結

していない登山道をたどる場合も含んだので「無雪期」とせずここでは「無雪」として集計した。バリエーションとはヨーロッパでいうスクランピングや岩登りを意味するバリエーションではなく、ここでは、道のないシヨートカットルートやヤブ山のイメージとした。

## 10. 登山道下山中が51%

ハイキング系の事故が起きた場所を分類した結果を図7に示す。

事故一報のものと文章から読み取ると、図のように、登山道下山中41件、上り10件、下り7件、登山道とのみ記載のため上りか下りか下山中かが判別できないもの他が16件で、登山道の事故合計は41+7+10+16=74件(93%)となった。ここで「上り」とは重力に逆らって上方に体を移動させる動作の途中で事故に遭ったことを示す。「登り」の言葉には「入山中」が含まれ、

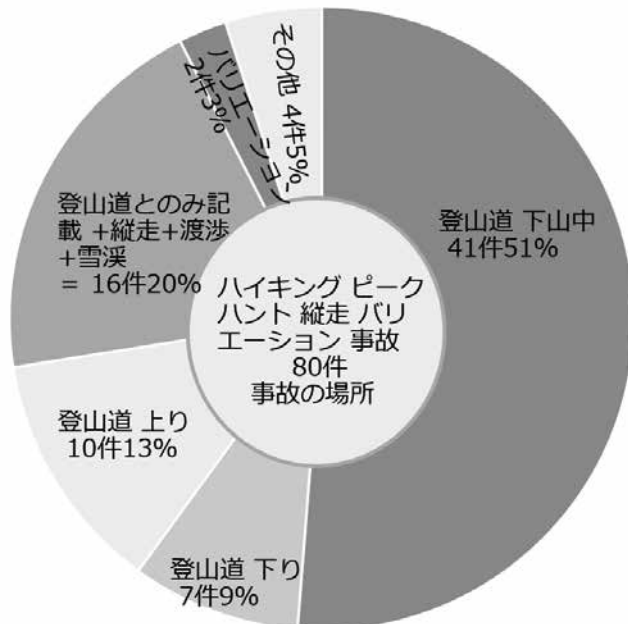


図7 ハイキング・ピークハント・縦走(無雪)・バリエーション(無雪)の事故が起きた場所

入山中の経路にある「上り」と「下り」がうまく区別できないのはと考えると分類を試みた。もとの文章が数行と短いこともあってこの分類が有意であったかどうかの検証には至らなかったが、可能な限りの分析を行った。

最後の項目16件20%の中には登山道下山中も混じっているとと思われる登山道下山中は41件より多くなる可能性もある。

## 11. 事故の態様と傷病

白で、ハイキング系の事故の93%が登山道で起きている。とくに登山道下山中の事故が51%を占める。ハイキング系の事故を減らすには、この登山道での事故がどんなきっかけで起き、どんな傷病に結びついたかを調べる

ことが重要である。

そこで、登山道での事故80件の態様と傷病を調べた。前号の「注2」でも述べたが、態様1は「注2」でも述べたが、態様1はきっかけとなった事象、態様2はそれによって引き起こされた事象、傷病は態様1態様2によってもたらされた最終結果である。

まず足がスリップし、思わず手をついたらその手が骨折して手首骨折という傷病に至ったならば、「態様1=足のスリップ」↓「態様2=手をつく」↓「傷病=手の骨折」と記載する。きっかけは「態様1=足のスリップ」であっても、「態様2=その足でふんばったが、その足をひねった」、「傷病=足の骨折」という事例もある。事故番号2016-12(本書P63)のように、両足ひっかかり↓転倒↓続いて滑落↓転落と4つの事象が連続し、後頭部裂創等に至りながらも生還された事例もあった。この事例では態様4まで必要だが、本書では、愛知労山の先例「文献3」に倣って態様2までにとどめてみた。

以下、図8、9、10を用いて説明する。図8は、態様1の分類



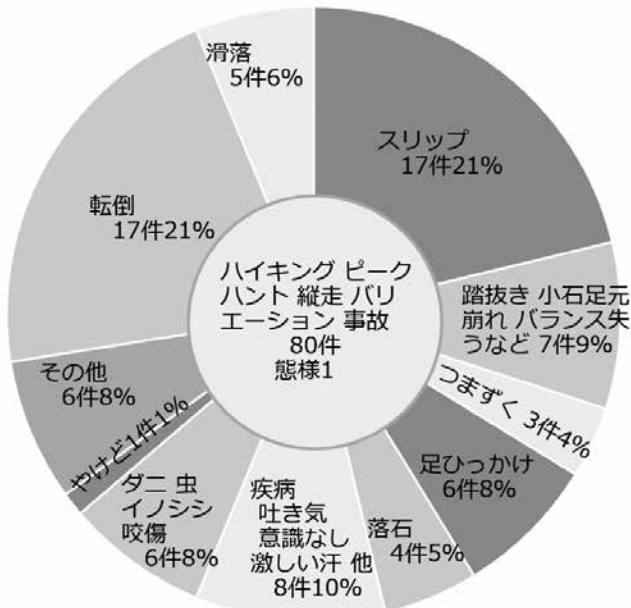


図8 ハイキング・ピークハント・縦走（無雪）・パリエーション（無雪）の事故の態様1

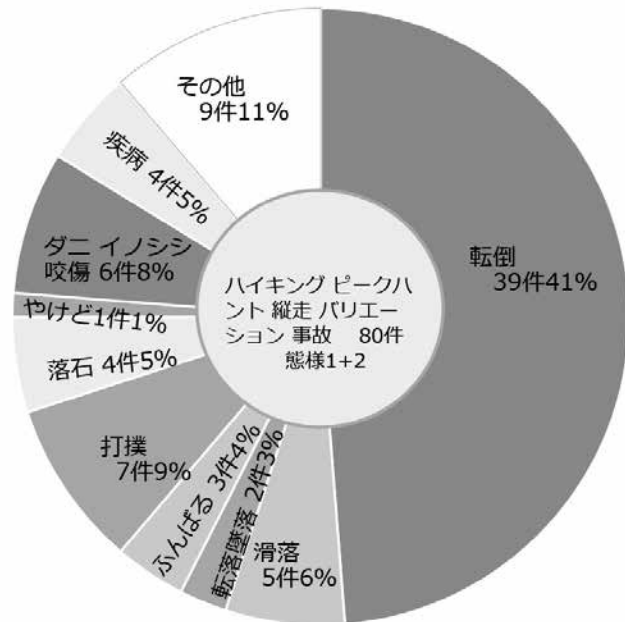


図9 ハイキング系の事故の態様1+ 態様2

結果となった。事故を減らす研究も先行して行なわれてきた。青山千彰先生は「転倒とは何か」を論じ「文献1」、山本正嘉先生は「下山開始直前にステップング運動」【文献3】がよい」と大阪府連50周年

少ない。ハイキング系では「転倒」が主要な態様となっている。ところが、転落や墜落までにはいたらず転倒にとどめてはいるものの、骨折が41件51%であり、けがとしては重い。ハイキング系の事故で骨折が最多件数を占めるのは驚くべきことである。骨折の中には、いわゆる「骨のひび」であって、医者ですらねんざと間違えたようなものから、岩に強くぶつかってしまい、重篤な骨折となったものまで多種多様である。転倒や滑落による受傷部位を調べた青山先生らの先行研究「文献1」によれば、転倒では手足首首ひびが多く、今回の調査でも同様の結果となった。

を示す。スリップから右回りに落石までの5項目が身体に加わる外力による事故のきっかけである。「スリップ」に始まる事故が17件21%と目立つ。生データでは「転倒」「滑落」と書かれていて、いきなり転倒や滑落なのか、まずスリップから転倒や滑

含まれるものはスリップ17件に加えられるべきだから、スリップ17件はもっと増える可能性がある。こう考えてみると、スリップを減らす方策の検討が有用であることが図8から分かる。態様1とそれに引き続く態様2をまとめた図9をみると、スリップ・踏抜き・つまづく・足ひっかけのあと、多くの仲間が「ふんばる」「手をつく」「立て直そ

うとする」などの行動をとっていてこれが骨折に結びついている（図10）。この傾向は青山千彰先生の先行研究「文献1」にも既に報告されている。図10に示すように、ハイキング系でも死亡事故が2件おきてしまった。図8、9、10で注目すべきは、死亡事故に発展しやすい「墜落」や「転倒」にいたってしまいう例はハイキング系では

めめるのは驚くべきことである。骨折の中には、いわゆる「骨のひび」であって、医者ですらねんざと間違えたようなものから、岩に強くぶつかってしまい、重篤な骨折となったものまで多種多様である。転倒や滑落による受傷部位を調べた青山先生らの先行研究「文献1」によれば、転倒では手足首首ひびが多く、今回の調査でも同様の結果となった。

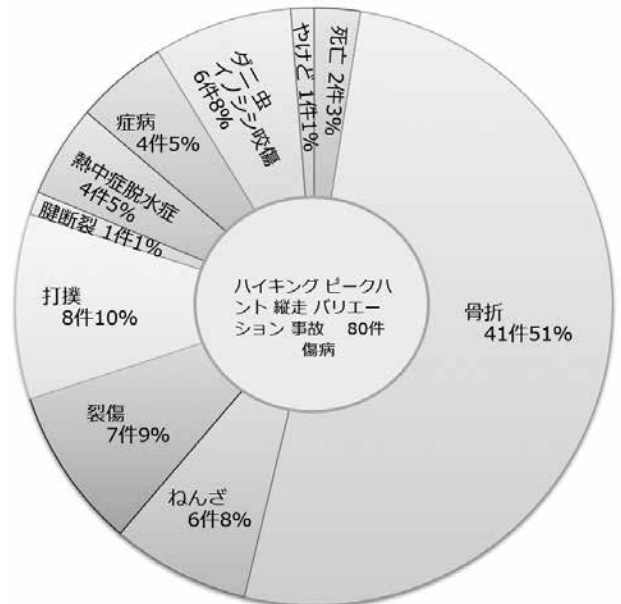


図10 ハイキング系の事故の傷病。重篤度の順に死亡→骨折→…と並べた

記念講演で述べられた(本書P50)。  
 今後は、下山中の事故が生じる状況をさらに詳しく調べ、それを防止する方策を、上記「文献1」「文献3」等をもとに、「下り準備体操」や「下り筋肉体操」を考案するなど、大阪府連の運動としても取り組みたい。

## 12. 道迷い事故はわずか

であり、遭難態様の最大を占めた。大阪府連の結果はこれとは対照的であり、同様の結果は青山先生らの先行研究「文献1」でもすでに報告されている。この理由には、(1)道迷いが事故になるのは、行動不能に追い込まれる、または帰宅が遅れて救助要請がなされるという場合であり、それより軽度なら事故ではなく、したがって、申請されない、(2)滑落や転落が道

特筆すべきことに、道迷いが極めて少なく、195件のうち3件(事故一報人数は4人)しかなかった。警察庁発表の山岳遭難概況「文献4」ではH30年の遭難総数の37.9%(1187人)が道迷いであり、遭難態様の最大を占めた。大阪府連の結果はこれとは対照的であり、同様の結果は青山先生らの先行研究「文献1」でもすでに報告されている。この理由には、(1)道迷いが事故になるのは、行動不能に追い込まれる、または帰宅が遅れて救助要請がなされるという場合であり、それより軽度なら事故ではなく、したがって、申請されない、(2)滑落や転落が道

迷いをきっかけに始まっていたとしても、滑落転落として事故報告される、などの理由もあるが、(3)警察の統計には山菜採りや観光目的などの入山も24%含まれ登山は76%であるものの、道迷い遭難をおこした方々には、山岳会無所属の方々(単独登山)が多い、という事情が主な理由と考えられる。大阪府連の道迷い事故が少ないのは、山岳会の仲間の強みである。大阪府連では、事故番号201512(本書P77)での呼びかけをきっかけに始まった連盟の「山の教室」の主要科目「読図講習会(座学・実技)」において、精力的な活動の中心となっている「読図チーム」の寄与などが大きいと考えられる。個々の会でも「読図公開山行」や「読図公開ハイク」も活発に行われている。今後とも、大切にしたい。

少なく、転倒が主要なものではあるが、(3)大半が骨折に至っており、登山道の事故、とくに登山道下山中の事故を減らすことが重要である。事故予防体操考案など興味ある課題への発展を期したい。(4)道迷いの事故は2%しかない。連盟「山の教室」の読図チームの活躍や各会での読図公開ハイクなどの取り組みの成果だと思われる。

紙面がなかったので、他の部分は大阪府連盟発行「事故防止は仲間の知恵で」をお読みいただきたい。

〔文献1〕 日本山岳レスキュー協議会「第1回山岳遭難事故調査報告書」2003年第1回から2020年第17回まで毎年更新されている。  
<https://www.ima-sangaku.or.jp/sangaku/?ca=24>

〔文献2〕 久保田賢次、筑波大学大学院生命環境科学研究所 山岳学位プログラム修士論文R3年3月25日。  
 山本正嘉「登山の運動生理学とトレーニング学」、東京新聞、2016年。

〔文献3〕 警察庁「平成30年度中における山岳遭難の概況(R1・6・13)」

# 「山の本」から見えてくる登山(クライミング)の歴史

第5回

本誌・田上千俊

欧州議会議員も務めたラインホルト・メスナー(1944～)  
その語録が面白い!

## 8000m峰全座初登頂した

### 20世紀の超人

ドイツ語圏南チロル出身のイタリア人登山家で、1969年、レ・ドロワト北壁(4000m)を単独かつ8時間で完登、ソロクライマーとして名声を確立。西部アルプス・ドロミテの岩場で多くの単独登攀を行い、フリールートを開拓した。1968年アイガー北壁冬期初登攀、1970年ナンガ・パルバート・パール壁を初登攀したが、下山中に弟ギンターが死亡し(注1)、本人も凍傷のため足の指を6本失う。1972年マナスル南西壁初登攀、1975年には史上初めて8000m峰を極地法のように中間キャンプを設営しないアルパインスタイルでガッシャブルム1峰西壁登頂に成功。1979年K2南側稜、1980年エベレスト北面など1986年



ローツエ西面登頂で8000m14座全てに初めて登頂した登山家(注2)となった。

彼もまた多くの著書があるが、集大成ともいえる2013年発行の「極限への挑戦者」東京新聞刊は、メスナーの思想を数多く表現した内容で秀逸の本といえる。その中から「メスナー語録」なるものを主観的に抜き出してみたい。登山家には少ないことだが、メスナーは政治嫌いではない。その証左に1999～2004年の間、欧州議会議員を務めている。それを前提に「語録」をかみしめると興味深い。

0年エベレスト北面など1986年

## 先ずは真面目な告白？ 何故ヒマラヤ登山を？

「僕の心がヨーロッパアルプスからヒマラヤに移るにつれ、A・FマリイやG・Lマロリーのような偉大なイギリスの登山家、ヒマラヤ登山のパイオニア達が僕の師範となっていた。疾風怒涛の時代の初期、マッターホルン北壁を登攀したシュミット兄弟、グランドジョラス・ウォーカー側稜初登攀のR・カシンを崇めたように」「人工登攀を放棄することによってのみ、難易度を押し上げることができるのだ」「ボルトが登攀補助具として扱われることに疑問を覚えない限り、純粹なるスポーツ精神の理想の根本原理など、何の役に立つというのだろうか」「僕にとって理想的なルートは、取付き点から頂上まで、ハーケンを使わず、ひたすら手と足だけで登るルートで

す」

「自分の力で山に登る者は、たいてい命を落とさずに帰ってくる」「滑る落する恐れのない山など、ただのまがいものに過ぎない」「山における、ほとんどすべての危険は、危険ではなくリスクである。リスクとはとるもの。つまり自分がとった行動の結果によって、事故を引き起こす可能性があることだ」

「僕はただ、好奇心が旺盛というだけ。以前、誰もがこぞって、エベレスト無酸素登頂なんて無理だと主張していたとき、僕は自分にこう言いました『そんな仮説、いったい誰が立てたんだ？ やれるかどうか、とにかく試してみようじゃないか』それが僕の反応でした」

「僕が耐えられないのは、市民社会における道徳的観念や規則などです。たとえば、教会へ行くべきだから行く。……こうあるべきだという観念を受け入れてしまう社会です。何をするか、何をしたいのか。僕は自分でそれを決める人間を信じます」



## 国内登山の動き マロリーがエベレストに 挑戦した頃

アルプス銀の時代の頃、1930年代（昭和初期）国内では北アルプスでのバリエーション・ルートの開拓が進んだ。日本の登山界で指導的役割を果たしていた大島亮吉（1899～1928、慶応大学山岳部、積雪期槍ヶ岳初登頂）は前穂高北尾根で墜死したが、積雪期初登頂時代が終幕を告げようとしていた。

1931年（昭和6年）春、慶応大学隊により槍から穂高への初縦走が記録され、早稲田大学隊は奥穂高・西穂高の雪稜を初めてトレースした。積雪期の穂高連峰の主稜は全て足跡がつけられ、岩稜・岩壁のクライミングへと続く時代の幕開けと



今でも人気高い白馬主稜・最終ピッチ  
この写真に筆者もいるはずだが…。

なった。1932年（昭和7年）春、松本高校隊によって北穂高滝谷・前穂高奥又白谷が登られ、夏には本格的な積雪期滝谷登攀の準備として、第4、第5尾根、ドーム中央稜、クラック尾根などが早稲田大学隊によって初登された。同年暮れには松本高校隊による前穂高北尾根屏風岩積雪期初登攀もなされた。翌33年3月には早月尾根から剣岳が登られ、最後の課題として残された剣岳西面山域も34年に入り登られ、先鋭的なクライマーの目は前穂高東面、鹿島槍北壁、南アルプス北岳パットレスに注がれた。1937年（昭和12年）の東京商大隊の第4尾根厳冬期登攀成功に至るまで、京大・立大・同志社大パーティーによってほとんどルートが登られた。

ヒマラヤ登山では1936年（昭和11年）立教大学隊がナン

ダコート（6867m）で10月3日雪崩に会いながらも6名登頂した。この成功で、ヒマラヤへの情熱が沸き上がるが、同時に日本は長い戦争の泥沼に突き進み、登山界もその流れに呑み込

まれ、自主的な登山は姿を消していくこととなる。

## 第2次大戦後の国内登山・ マナスル登頂

大戦で没した有名無名の岳人は「ごくささやかな調査（十五年戦争下の登山・西本武志著 注3）」でも300名を超えという。前述のナンダコートの初登頂に参加した湯

浅巖もその一人である。1949年（昭和24年）頃から明大・早大・日大・法大など生き残った岳人、といっても相変わらず学生（及びOB）隊が中心だが北アルプスを中心に登山活動が再開された。

1953年早大隊は南米のアカンカグア（6960m）に登頂。同年京大士山岳会隊はアンナプルナIV峰（7525m）に挑戦したが7100m付近で退却した。世界第8位の高峰マナスル（8156m）登山が1952年具体化、日本山岳会隊として9月に先発隊が、翌53年第1次登山隊が挑んだが、6月7750mを最高到達地点として引き返した。翌54年第二次隊も6

350m付近で撤退した。第3次隊は横有恒（注4）を隊長に12名が選ばれ1956年カトマンズに集結した。5月9日今西寿雄とガルツェン、10日、3名が登頂。ヒマラヤの8千m峰のひとつが日本人に登られ、国内では戦後の復興と共に登山ブームが沸き起こる。

（つづく）

（注1）弟の遭難以降、メディアはもちろん、少くない登山家にメスナーは登攀中、疲弊した弟を追い返し、見殺しにしたと非難されてきた。しかし35年後の2005年、弟の遺体と衣類、装備品が発見され「弟が不運な事故で死んだ」ことが発見場所から確定した。非難していた人たちはメスナーとは違う場所遭難したと主張していた。

（注2）日本人で唯一、竹内洋岳氏（1971年生、2019年まで石井スポーツ、その後PR会社へ）は2012年5月14座目のタウラギリ峰（8167m）に登頂、世界で29人目の全座登頂者となる。

（注3）筆者は元日本勤労者山岳連盟会長、本書は日中戦争から太平洋戦争までの15年間、如何に日本登山界が苦難の道を歩んだか、多くの事実と資料でまとめ上げた研究ノート。2010年「本の泉社」刊。

（注4）本誌7月号P20参照  
【訂正】本連載第4回（7月号掲載）の冒頭に「岡野金次郎（日本山岳会創立発起人）」とありますが、岡野は創立に深く関与はしましたが、発起人7名に連名しておりません。お詫びして訂正いたします。



## 自然を遊び学ぶ、学校登山の行方



地元遠山中学校の登山は伊那山脈鬼面山 1890m だったが、寸前の豪雨で道路が崩壊、目的地変更で安近短・小嵐稲荷神社が祀られる展望台となった。(昨年7月21日撮影)

移住先の遠山郷では、保育園や小・中学校のボランティアを頼まれることが増えた。ほとんどが学校登山の引率サポートで、何かお話をと向けられたら、花や虫、草や木、シカ、クマ、カモシカ、ライチョウ、クマタカなど、子供たちが興味を持ってくれるような話をする。自然を知り、人も自然の一部との目線が子供たちに芽生えれば、世界を覆う地球温暖化やコロナウイルスについて彼ら自身で考え、人が自然とともに持続して生きてゆく方向も見いだせるのではないかとと思う。

### 昨

年と同じ6月末、地元中学校で学校登山の授業に招かれた。目的の山は、残念ながら地元の最高峰・聖岳ではなく、数十年前から安近短の日帰り地元

低山に変わった。「自然を遊び学ぶ」授業は、現在の義務教育の中にはなじみにくい。教師は課外授業にまで手が回らないし、いろんなリスクが伴いやりたがらない。地球レベルでの環境問題をわかり難くしているのは、人が人の快適のためだけに化石燃料を使い続け、自然を切り崩している事を、大人や学校が教えないからだ。「地球を食いつぶしているのですよ」となれば土台が崩れた泥船同様で、待てよと思うようになる。温暖化は、今の子供たちが、今から、考えていかなければいけない。彼らが大人になってからだともはや手遅れである。

自然に親しみ、遊びながら学ぶのであれば、課外授業をNP Oなど外部の専門家をお願いするのが一番いい。児童生徒なら

実費のみのボランティアで受けてくれる方は案外いると思う。学校登山にしても同じだ。教師の負担をなくして実践できる方法としたら、登山ガイドの皆さんに安全管理をお願いすれば、組織でボランティアイベントにしてもらえる。訳は簡単、ガイドさんにしてみたら山好きの人数を増やせる販促活動だからだ。さらにいうと、学校登山を修学旅行と同じ旅行にしてしまえば、教師の負担は相当軽減する。公立の学校では実現が難しいかもしれないが、考えてみる余地はあると思う。

### 昨

年大晦日、信濃毎日新聞に『学校登山 揺らぐ伝統：10年で激減 来年度は4割下回るか』という記事が載った。これは長野県内中学校の学校登山の実施割合のことで、長野県山岳総合センターの行った、公立全中学校188校(分校2含む)学校登山の実態調査速報である。9割の回答の中、計画があったのは半分の85校で、67校が中止



遠山郷の学校登山は、40～50年前までは片道20キロ以上も歩いて、3000mの頂に1泊2日で登ったという。左から、兎岳、聖岳、上河内岳

し、予定どおり実施できたのは2校だけ。16校が期間短縮、目標変更し実施。21年度計画があるのは60校(35%)、1泊2日以上が38校、日帰りが22校。激減の要因は「生徒の体力減、安全確保の難しさ」を挙げ、さらに「山小屋が『密』になる」とコロナ禍やオリンピックまで中止の理由になっている。一度中止を決めた学校に復活は?? 減少に

歯止めがかからず、関係者は「コロナが止めるきっかけになる」と心配としている。衰退の最大の事情は、登山における事故の責任問題が根にあるとみる。

この問題が相当気になっていたので、6月中旬地元伊那校長会(小中学校)の会合で、学校登山の発展のための提案をさせてもらった。地域の中学校は21校、このうち昨年と一昨年に学校登山を実施したのはそれぞれ5校のみ。10年前は県下9割近くの中学校で実践されていた。現状は前出の通りで、飯田・下伊那地域に至っては24%弱とひどい激減である。

私には、東京の成城学園中学校の学校登山に10年程、登山旅行専門家およびガイドとして携わった経験があったので、以下の内容で学校登山復興を検討いただけるようお願いした。

題目は『専門家と連携したプログラムで達成感のある登山』である。まず、学校登山には他の学校行事では得がたい幾つかの教育的な効果がある。

大自然の中で普段は経験できない多くのことを学び、集団登山の素晴らしさを理解して「また山に登りたい」という気持ちになり、他県に住むことになっても長野県の山の素晴らしさを語る誇りを持ってもらう。

さらに学校登山の教育的効果を幾つか例にとつて訴えた。①体力的に限界に挑んだことにより得られる達成感と自己肯定感 ②普段の生活では得られない大自然に接することによる自然保護の気持ち ③集団として共通の目的を成し遂げることにより得られる学校の連帯感

一方、学校登山を実施するに当たっては他の学校行事にはない課題があるのも事実で、「安全の確保」「生徒の体力差に応じた登山指導」「自然保護や自然観察教材の作成」などを挙げた。その上で、私たち(一社) 南信州山岳文化伝統の会では、地元山岳ガイド組織とも連携を図りながら学校現場の先生方との協同でより教育的効果が高く、達成感がある学校登山の在り方を検討したいと考え、次の提案をした。

- イ. 当会や地元山岳ガイド組織と連携し、計画当初から実施まで効果の高い登山を目指す。  
ロ. 当会は地元ガイド組織や長野県山岳総合センターと協力する。  
ハ. モデル的な数校を選び、上記を実

践する。

実施態勢としては

- A. 教職員の負担を軽減するため、学校登山に関する業務を登山専門旅行代理店に委託  
B. 学校の業務

・計画立案、班分け、教師の付き添い  
態勢事前学習(丹沢)、保護者会(6月) : 説明等は代理店

・前日登校(7月) : 健康、装備、ウェアのチャック、余分な持物チェック(代理店も参加)

・反省会(9月)(代理店も参加)  
C. 学校から代理店への委託業務

・交通機関と宿泊手配・日程変更の手配・会計・関係者との連絡調整  
・現地での安全対策(プロガイドの付き添い、救急医療、緊急連絡、救助)

6月末、隣接する伊那市の白鳥市長が市総合教育会議で「伊那らしい学校登山の在り方を」と述べ、また「必ずしも頂上を目指さなくてもよい登山もあり」で、自然体験が重要、体力に合わせた分散登山で選択肢を増やすなど時代に即した実施方法の検討を求めたと報道された。わが意を得たりである。





第17回

# 山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

## 「大気の状態が不安定」 落雷事故から学ぶ (続編)

よる突風や気温低下が起きるが、このときも同様の状況が記録されている。

### 運命の第2の雷雲接近

一行は同45分に頂上を後に往路を戻る帰路に着いた。まもなく雨が止み薄日が差し上高地や焼岳も見え、濡れた下半身も乾いた。しかしそれも束の間、13時15分ピラミッドピークを通過する頃に急に暗くなって強い雨と雷が降り始め、見る間に岩間に積もった。これが運命の第二の雷雲の接近だった。雷鳴のたびに雷が近づく感じがしたという。気温が急降下し風に帽子を飛ばされる人や、唇を紫色にする人もいた。同20分最初の電光を見たが(雷鳴まで5〜6秒だった)、距離は1・5〜2km程度とみられる)独標に向かい前進を続けた。13時45分に隊列の先頭にいたリーダーが独標を越える頃に至近距離に雷鳴があった、そして一行の半ばが越えた同35分頃独標頂上に運命の雷が落ちた。雷は独標から北側に流れ、列をなして登っていた一行を次々に襲い、衝撃で岩から転落したことが致命傷になった人もいた。メンバーの間隔が近く、人伝いに電流が飛んだものと思われる。列の中には生存者もいたが岩の段などで頂上から多少でも陰の位置にいた人が多かったという。また、同じ独標北側でうずくまって雷が止むのを待っていた別の登山者にも雷撃が飛んだが、目の感覚が数分間なくなり手足の感覚も無くなったが数十分で回復に向かい、歩けるようになったのはおおよそ2時間後だったという。最初は燃えるような熱さを感じその後強い寒さを感じたということだ。雷の恐ろしさをまざまざ感じさせられる。

### あらためて雷とは何か

落雷は雷雲と地上との間の放電だ。電圧は約1億ボルトで絶

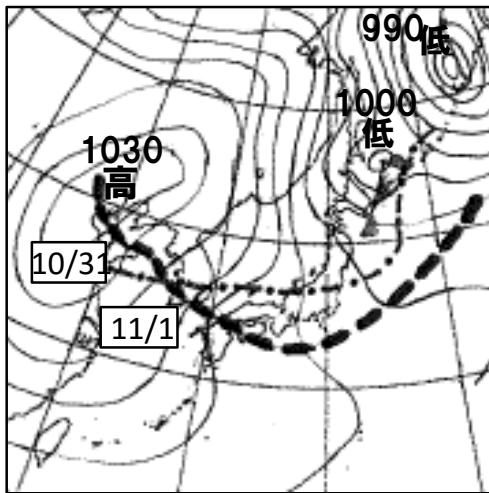
### 雷雲通過・大粒の雨やヒョウ

前回に続き1967年の西穂

高落雷事故から雷について考えてみたい。前回は一行が朝7時に上高地を出発し西穂山荘、独標を越え西穂高岳頂上に12時25分に到着するところだったが、頂上前の急登では霧がだいぶ濃くなって大粒の雨を感じた人もいた。同40分に大粒の雨が急に降り出し風も出てカッパを着け

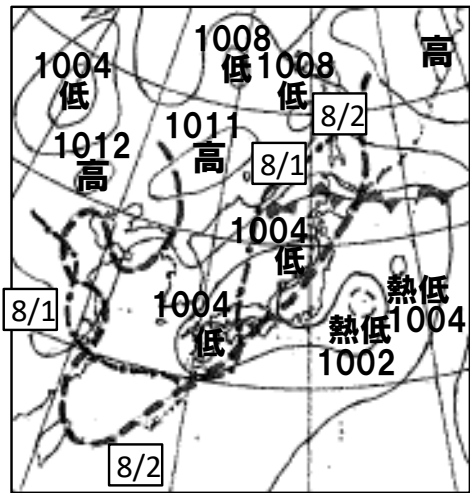
たが下半身がたちまち濡れた。雨は10分くらいで止んだ。別の登山者からは降雹や雷鳴や電光の報告もありこれが一回目の雷雲通過だったとみられる。

雷雲(積乱雲)の大きさは通常10km程度と比較的小さく(数個の雲が連なり大きな塊や列状になることも多い)、急速に発達する。そのため、大粒の雨や雹が急に降り出すことが特徴だ。雲の中は上昇気流と下降気流が入り交じり雨は強弱を繰り返すことが多い。また、下降気流に



神奈川県大山であずま屋に落雷した  
1992年11月1日の天気図

午後から天気急変しあずま屋に25人が雨宿りしていた。落雷直前に枝分かかれ、あずま屋の屋根4か所に落雷、その直下にいた人に飛び、さらに雨宿りをしていた数名に流れ、1名死亡、10名が重軽傷を負った。上空の寒気が南下していたことに加え、午前中は天気が良く気温が20℃まで上昇し、上下の温度差が拡大し大気の状態は不安定になっていた。※太線は上空約5600mの-21℃の等温線



北アルプス西岳でテントに落雷した  
1968年8月2日の天気図

雷鳴が次第に小さくなり雷が遠ざかったと安心した矢先に落雷した。雷の射程距離は数kmあり雷鳴が聞こえている間は油断できない。テントの中で被雷した人は衝撃で跳ね飛ばされ、半身が痺れ動けなくなった。日本付近は低気圧が散在しており気圧の谷になっていて天気が安定しない形で、加えて上空の寒気が西から東進し雷雲が起きやすい条件だった。※太線は上空約5800mの-6℃の等温線

縁体である空気を切り裂くように数kmの距離を放電するので、高く突き出ているものや尖った形のものに落ちやすい。具体的には頂上、尾根、岩峰、高い樹木などで、樹林帯でも高い樹に落ちるから安全ではないし、もしも平らな場所でも近くに高い物が無ければ立っている人間に一番落ちやすい。したがって凹地など低い場所で姿勢を極力低くしてしゃがむのが避雷姿勢となる。傘はささない方が良くザツクに差したポールやストックは取る。高木のそばに避難するときには樹から4m離れる。近づき過ぎると樹に落ちた雷が自分に飛び火(側撃)する危険が高く、実際に樹の下で雷撃される例は多い。また、人から人への飛び火を防ぐため登山者の間隔は空ける方がいい。山小屋の中は安全と言われているがテントや屋根だけで壁のないあずま屋は危険で、過去の事故例もある。

雷は前述したように「いつどこで」の予報は難しいが、雷が起きやすいかどうかは予報可能なので天気予報をチェックし、危険日は特に雲や霧、風の様子や気温の変化に注意し警戒しよう。雷は登山者を急襲するが、襲われてからでは遅い。西穂高事故の例からも雲が湧き視界が閉ざされるようになったら要注意で、もし岩場で雷の緊急的な危険を察知したら転落を防ぐとともに退避場所には岩の凹みなど岩峰の影になる場所を選びたい。再度、先月号から自分が登っている気持ちで読み返していただけ安全登山への気持ちも新たにしたいだけならば幸いだ。

雷の近さは雷光から雷鳴までの時間で推定できる(音速約340m×秒数)が、雷の射程は数kmもあり遠くでも雷鳴が聞こえている間は危険と心得たい。また、落雷は一瞬で電流量は小さいので雷撃されても人工呼吸や心臓マッサージで蘇生する可能性が高く、現実に蘇生した例もある。あきらめず救助活動に当たりたい。

## リゾードスパ並みの温泉

「トカゲ」とは、登山者がテント場所の岩の上や草原で日光浴をしながら昼寝をする贅沢な過ごし方を言う。登山者が岩の上でじーっとしている蜥蜴トカゲの姿に自分を見立てた言葉だ。

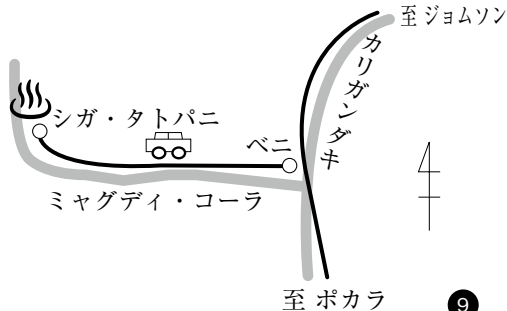
そんなトカゲを決め込むに適したベニ・ミヤグデイ温泉を紹介しよう。別名をシガ温泉と言いつ、ベニの町からおよそ9km西方にあり、タクシーやバスなどの乗り物を利用して行けることから、この辺りでは一番人気のある湯殿である。ダウラギリ・トレッキングはこの温泉を起点とするので、立ち寄ってみてはいかがだろうか。

湯殿はミヤグデイ・コーラの岸辺にある。湯は岩塩の香りが強く、身体にとっても良いと評判だ。湯治客のために10日間入浴可能な回数券もある。朝6時から夜8時まで入浴が可能で、

## ベニ・ミヤグデイ温泉 (シガ温泉)



みんなマガル族  
至ジヨムソン



## ネパール 温泉紀行

石原裕一郎 杉並山の会/東京

大きなバスタブが3つも用意されている。

脱衣所やトイレはもちろん、レストラン、マッサージュルームなどリゾードスパ並みの施設が整っている。痛みはじめた身体を癒しに、山上集落の村人が開門と同時に押し寄せ、湯槽は芋洗いのような賑わいを見せる。

マガル族との裸の交流

小さな身体の不調にも耳を傾けてくれる良質な湯を求めて入湯する民俗は多いが、この湯に浸りにくる大半はマガル族である。この族に属する亜部族は多く、ひとつの湯槽にタパ族、グルラム族、アレ族、ラナ族、ブン族、ブダトキ族、ガー族、モリヤン族など多くの亜部族が入浴しており、これら亜部族が幾つも集まってマガル族全体を構成しているのである。

彼らは畑の傍らに女神を祀り、虫除けの呪術を行うハイ・ブジャという祈りを行うことで知られている。そんなシャーマニズム的な祭儀を行う人たちとの裸の交流は、今後の生き方に影響をもたらしそうでワクワクする。温泉がきっかけで村の文化や歴史に触れられるのも活断層温泉の良さかもしれない。



2020年末曾有の新型コロナウイルスが日本列島を襲った。緊急事態宣言下、私たち登山者の生命線でもある「山小屋」は、市街地と違う環境下で苦しい経営と判断を迫られていた。その渦中、山と溪谷社取材班は山小屋の経営者や管理人に会い、半年間の取材を本書にまとめた。ルポライターの柏澄子さん、写真家の三宅岳さんもそれぞれ取材し、現状を伝えている。

「経営状態はもう半端なく大変」と訴える八ヶ岳・黒百合ヒュッテのオーナーの叫びから始まる内容に、私たちは耳を傾ける必要がある。96軒が加入する北アルプス山小屋友交会の会長は、現状について「感染対策がイドラインは外部のものを参考に独自のものを作成した」「国立公園の環境維持のためにも多くの費用を負担している」「ヘリによる物資輸送が価格高騰のため困難になってきている」「山小屋は特殊な立地条件にあり、市街地と同様の建築基準法や労働法等の適用が困難である」「持続可能な労働力を確保することが困難」と多くの課題を投げかけている。

これらは登山者にも行政にも難題だ。まずは本書を読み、論議を深めよう。

(本誌・由上千俊)



### ドキュメント 山小屋とコロナ禍 山小屋の〈未来〉を展望する

山と溪谷社 編

山と溪谷社

¥1,100

新書判・256P

2021年1月7日刊

### ウォーター ウォーキング3

誰でも楽しめる  
超カンタン沢歩き

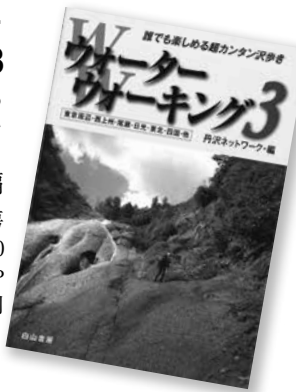
丹沢ネットワーク 編

白山書房

¥2,200

A5判フルカラー・168P

2021年5月12日刊



水流と戯れ遊ぶ沢歩きの案内書で、易しいルートを難易度別に紹介したシリーズ3弾。精緻なルート図と多数のカラー写真で、東京周辺・西上州・尾瀬など広範なエリアから魅力的な42本の沢を紹介している。丹沢ネットワーク代表の網島正人さんが会員の協力を得て取材、1人で全ルートを執筆した。

### 白嶺の金剛夜叉

山岳写真家 白簾史朗

井ノ部康之 著

山と溪谷社

¥2,200

四六判・328P

2020年5月14日刊



日本を代表する山岳写真家・白簾史朗への一年間に及ぶインタビューの連載を元に、その生涯をまとめた一冊。彼がいかにして山岳写真家界の第一人者となり得たのか、青年期から晩年に至るまでを、国内の山々そしてヒマラヤやカラコルムなどの海外の山々の壮絶な登山記録と共に臨場感たっぷりに描く。



## ○ 労山基金運営委員会

## 無事故報奨金制度の

## 見直しについて検討中

無事故報奨金制度は、10年間交付申請のない団体に対して、無事故報奨金を交付する制度であり、2014年に始まった。報奨金は、当該会の前年度の寄付金総額の10%を目安とする。報奨の対象は、過去連続して10年間に基金委員会に対して交付申請がされなかった団体となる。

この制度の趣旨は、無事故を維持するには、個人の安全山行に対す努力のみならず、会・クラブの努力によるところがすくぶる大きいことから、会・クラブの無事故に向けた永年の努力を顕彰するとともに、更なる安全山行への個人と団体に対する今後の努力を促すための制度である。第1回から第7回2020年まで、総計868団体、無事故報奨金388万1940円、表彰状と報奨金を団体に授与してきた。

しかし、会員数は減っている

のに事故件数は減少していないという事象がある。無事故報奨金制度について個人・団体における「無事故への努力が適正に反映されていない、モチベーションとして機能していないのではないか」という指摘がある。また、10年間無事故というだけでは団体の実状に照らして公平な評価ではない（会員数や山行回数との差異など、大形クラブには不利）という指摘もある。以上の経緯から、無事故報奨金制度そのものを見直して、今年度限りで廃止する方向で検討している。

（武笠真次／労山基金運営委員）

## ○ 自然保護委員

## 植樹活動時にリニア建設反対

## 署名を182筆集める

4月24日、昨年はコロナ禍のため中止となった足尾植樹デーに参加した。足尾銅山の煙害により荒廃した足尾町松木地区に100万本の木を植えようと、NPO法人足尾に緑を育てる会が25年前から地道に続けている

活動である。労山では栃木県連盟の森初芳さんを中心にこの活動を応援してきたが、全国連盟や近隣の埼玉県連盟などからも有志が参加し、活動の幅が広がってきている。個人やボランティア団体の協力によりこれまでの植樹本数は26万本を超えたが、目標の100万本までには更なる努力が必要だ。長い年月を経て形成された自然を元に戻すことがいかに困難かを痛感する。

さて、今回の植樹デーで、自然保護委員会が進めているリニア建設反対署名を一般参加者に呼び掛けたところ、182筆の署名をいただくことができた。自然保護を大切に思う方々の共感は大変うれしく、自然保護委員も元気を頂いた。リニア建設反対署名は、6月現在16186筆となった。日本勤労者山岳連盟のホームページ（トップページ下部）にある「リニア反対署名」をクリックすると署名用紙がダウンロードできるので、応援をもう1度お願いしたい。

(瀬下啓司／全国自然保護委員)

○ハイキング委員会

今こそ会員拡大の好機、

若いハイカーが増えている！

4年前から東京都の西端、立川市で登山セミナーを開催している。昨年はコロナ禍で受講者減と思いきや定員をオーバー。多くが中高年でかつ初心者、というより登山とは異なる趣味をもつ方で、受講者20名から入会したのは2名だけだった。今年は緊急事態宣言下で、会場を提供する立川市の要請で定員を半減して開催した。それでも11名が受講し、何と7割が30代とおぼしき若い女性。私を含む講師陣は張り切ってはいるが、果たして今度は受け入れる会・クラブがあるか。親子ほど年の離れた会員との活動経験に乏しい我々は現在、嬉しい悩みを抱えている。

さてある山岳団体との会合で、昨今、登山者が減ったという根拠のない「俗論」が話されたよ

うだが、関東周辺の20000m級の山々ではやや大きさに言う「若者であふれている」のが実情である。コロナ禍で山から減ったのは中高年登山者だ。これもワクチン接種が広まればおそらく秋ごろには回復すると思われる。密を避ける、県境を越えての移動の自粛を几帳面に守っている多くが中高年と思われるからだ。6月26日に開催される「全国ハイキング活動者会議」では、ハイキングクラブの宝刀でもある「バスハイク」をはじめ、コロナ禍の貴重な経験とこれからの展望が熱く語られるに違いない。

(田上千俊／全国ハイキング委員長)

○遭難対策部

注意力を高めた安全登山で

5月11日から6月1日までに届いた事故一報は8件8名。女性3名が転倒(無雪期)、4名が転・滑落(登攀3名、無雪期1名)、1名が虫・動植物。登攀による事故は、重症の事例が2件。1

件は足を滑らせ逆さまの状態となり、肩から頭部を打撲し、へりで搬送された。他1件は、濡れた岩に足を滑らせ約3m転落。鎖骨や胸骨圧迫骨折の他、肋骨を1本骨折した。前号でも、ロープが足に引っかけ頭から落ちた事故やロープのセットミスによるグランドフォールの事故が発生している。ヒューマンエラーによる人為的過誤や失敗である。

会のベテラン層が起こした事故が気になっている。注意力や意識が散漫となり「問題ない」という自己確信(思い込み)が生じたと考えている。基本的な確認やチェックが必要であることを、再度各会で周知して頂き安全登山を進めましょう。

(石川昌／全国遭難対策部長)

※事故一報の一覧表は次ページを参照してください。



5月11日から6月1日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	傷病名
1	05/09	兵庫	75	男	烏帽子岩	登攀 転落	1ピンと2ピンの間で滑り膨らんでいる岩に当たる 肋骨1本ヒビ
2	04/22	広島	68	女	岩船岳	無雪期 転倒	木の枝に足が引っ掛かり転倒し左手をついた 左手首捻挫
3	04/24	鹿児島	51	男	国見岳	無雪期 滑落	沢で石が崩れ50cm程滑り足首を捻った 右足首の捻挫
4	05/15	東京	77	男	奥多摩・カロ一谷	無雪期 虫	下山して翌日、入浴時に気づく ダニ被害
5	04/18	岐阜	66	女	舟伏山	無雪期 転倒	雨のため、ぬかるみで滑り転倒 骨折
6	05/19	東京	74	女	御前山	無雪期 転倒	下山時、下りの急斜面でバランスを崩し滑った 左肋骨骨折
7	05/8	埼玉	67	女	河又・蛇岩	登攀 滑落	足を滑らせ、逆さま状態で肩から頸部を打撲 頸髄損傷（ヘリ搬送）
8	05/23	香川	65	男	大屋富岩場	登攀 転落	濡れた岩に足を滑らせ約3m転落 鎖骨骨折、胸骨圧迫骨折2本、肋骨骨折11本

事故一報の受領順で掲載

	50代	60代	70代	合計
男性	1	1	2	4
女性	0	3	1	4
合計	1	4	3	8

	転落	滑落	転倒	その他	合計
男性	2	1	0	1	4
女性	0	1	3	0	4
合計	2	2	3	1	8


	無雪期	登攀	合計
男性	2	2	4
女性	3	1	4
合計	5	3	8

	骨折	捻挫	その他	合計
男性	2	1	1	4
女性	3	1	0	4
合計	5	2	1	8

山筋ゴーゴー体操

筋トレ動画を公開中

- ◆室内で1回7分
- ◆最初は無理なく朝・夕に、慣れたら週3回以上継続が効果的

視聴は…[コチラ](#) → 

または [日本勤労者山岳連盟 HP](#) の下部バナーから



山に行く体力・筋力を維持しよう!

- 2日 遭難対策部会
- 8日 組織部会
- 9日 ハイキング委員会
- 10日 (公社) 日本雪氷学会支部総会・理事会 (Zoom会議)  
川嶋事務局長、出席。
- 14日 自然保護委員会
- 15日 機関誌委員会
- 同日 三役会議
- 17日 登山時報編集委員会
- 19日 第16回拡大理事会
- 20日 全国機関誌会議
- 22日 労山基金運営委員会
- 26日 全国ハイキング活動者会議
- 同日 日本ヒマラヤン・アドベンチャートラスト創立30周年記念式典 (東京・京王プラザホテル) 浦添理事長、久保副理事長、来賓として出席。
- 29日 第1回全国登山研究集会に向けた課題別講演会 (労山基金の魅力)
- 30日 遭難対策部会

## 第16回理事会、討議事項

- ① 全国機関誌会議について  
日程案、役割分担、理事会報告、参加者の確認。追加の参加者を受け付ける。
- ② 2022年版の「労山カレンダー」製作について  
作成部数を千部少なくする。体裁については事務局で判断して作成する。
- ③ 佐賀労山の創立50周年記念祝賀会に全国連盟から講演者を派遣する。



初めての谷川岳一ノ倉沢。中央稜を登攀後、一ノ倉岳を目指し懸垂岩を下降する



奥多摩、川苔谷逆川10m トイ状の滝を登る

## ネパールの山村パタンジェ村支援団体 「夢広の会」による 新型コロナウイルスに対する支援のお願い

今（6月半ば）、ネパールでは一日に約8000人が新型コロナウイルスに感染、首都カトマンズはロックダウンしています。私たち「夢広の会」は、甲山労山（兵庫県連盟）の会員が中心になって活動しています。支援しているパタンジェ村ではこれまでに17人ほどの感染が確認され、先日死者も出ました。医療施設も充実していない山村で感染が広がっていく危機にあります。私たちは6月2日に、緊急支援として村の各戸にマスク（50枚入を2箱）と消毒液（500mlを1本）を配布しました。今後も現地と情報を共有しながら見守っていきます。ご支援をよろしくお願い致します。

夢広の会事務局 メール [yumehironokai@outlook.jp](mailto:yumehironokai@outlook.jp)

《支援金受付》

ゆうちょ銀行総合口座 記号 14370 番号 20413031

名義：夢広の会

## FROM EDITOR

連載中の、大阪府連盟の「山岳事故分析事例」は過去3年間の具体的なデータを分析し「防ぎ得た事故をゼロにしよう」と目標を明示。今後の山行活動で生かされる貴重な教訓を含んだ報告である。「事故防止は仲間の知恵で」、納得です。（橋口）春先の山菜は、フキノトウやタラの芽、コシアブラなど皆さんに喜ばれる。5月の終わり、ワラビとりに木曾に行った。ワラビはたくさん採れ、知り合いに小分けし喜ばれた。自分は「山ウド」の味を堪能した。なかなか山には行けないが、田舎暮らしを楽しんでいる。（塩田）

ある山岳団体の会議で「最近コロナ禍で登山者が減り、登山道も荒れている。」という発言があった様だ。この方は最近山に登ってないな、と直感した。私は多い時は週2回、登っているが、ここ数ヶ月メジャーな山ほど大勢の登山者でにぎわっている。減っているのは高齢者だ。若者が増えている。（田上）オリンピックの開催ありきの政府の対応。人々の命を危険に晒してまで開催することに何の意味があるのだろうか。世の政治家たちは弱者の意見を聞こうとしない。何故、こんな国になってしまったのだろうか。（酒井）コロナ禍のワクチン接種が盛りであるが、梅雨明けと夏山が待ち遠しい方も多い。わが所属会でも7月予定のアルプス計画が4件出ている。山小屋の状況など昨年並みかどうか確認したいところ。早く天空の地へ飛びたい気持ちは理解できるが慎重な行動を。（小倉）

「夫婦同姓強制合憲」の最高裁決定はジェンダー平等の世論の高まりを見ない残念なものだった。前から気になっていたのは、自分の夫を「主人」、話相手や第三者の夫を「ご主人」「旦那さん」と呼ぶ風習。家族の中で「主」「従」はないはずだ。（鈴木）

## ふふハハハ

No.172 村松 孝一



## 登山時報

©禁無断転載

8月号 No.558 2021年7月15日発行

編集長 今野善伸  
副編集長 橋口晴彦  
編集 酒井正裕、田上千俊、渡辺明（進行）  
校正 小倉遼夫、塩田善次郎、鈴木幹雄  
DTP・デザイン 来住真太

発行人 浦添嘉徳  
編集人 今野善伸  
発行 日本勤労者山岳連盟  
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24  
TEL 03-3260-6331 メール [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp)  
印刷 株式会社 ウイング・コア





## 村田浩一さん

1952年、神戸市生まれ。宮崎大学農学部獣医学科卒業。博士（獣医学）。日本大学生物資源科学部特任教授、よこはま動物園ズーラシア園長。IUCN（国際自然保護連合）、OIE（国際獣疫事務局・世界動物保健機関）、環境省等の委員も務める。1978年から23年間は神戸市立王子動物園に獣医師として勤務。現在は、保全医学の観点から、主に鳥マラリアや野生動物のサルモネラ感染症と「環境・動物・ヒト」との関係について研究を行うと共に、動物園で「感じ、知り、学び、そして守る」ことを目標に活動している。



Murata Koichi

野生動物の研究者・よこはま動物園ズーラシア園長

今あらためて立ち返る「人間の生存を根本から支えているのは？」

—近年、動物由来の感染症が増加していると聞きました。

今や人間で流行する新興感染症の75%が動物由来です。新型コロナウイルス感染症もその一つで、もともと野生のコウモリが保有していた病原体のウイルスが原因です。

人間が深い密林の中に分け入って、これまでになかった野生動物との接触機会を得た時、本来は穏やかに生活環を形成していたウイルスが、新たな宿主、つまり人間を標的にしたと考えられています。

動物由来感染症増加の背景には人間と動物との接触機会の増加があり、それは開発など地球上の土地利用の変化が大きく起因しています。人間も多様な生物の一種（ホモ・サピエンス）の中で、いかに健全な関係性を

結ぶのかを考えるべきでしょう。

—One Healthが注目されています。

人間・動物・生態系の健康を総合的に捉えた取り組みを「One Health」といいます。これは単に人間や動物の健康を守るだけでなく、経済、政治など多様な分野と関わっています。WHOなど国際機関ではこれを共通認識として連携が進んでいます。

One Health実現に必要なのが生物多様性保全です。地球は生物相互の微妙なバランスで成り立っています。18世紀後半から種の絶滅が加速し、人間は地球を独占的に利用して自然を搾取し続けています。生物多様性保全は、人間が今後も生存する唯一の手段です。人間に残されている時間はわずかです。—ソコで山に登ってきたさうぞうですね。

学生時代より、九州から北海道まで、縦走にフリークライミングにと、多くの山に登ってきました。なぜこんなに苦しいことを繰り返しているのか自分でも不思議でしたが、山頂に立つと、いつも爽快感と喜びが湧き上がってくるのです。そして、自然の中で人間がなんてちっぽけな存在であるかを、そのたびに認識しました。

また、テント泊の際、わずかな身の回り品で数日を過ごせたものです。私たちはあまりにも多くの身の回り品を抱えて生活し、そのためにあくせく働いているような感もあります。

皆さんの山での経験を、自然との共生を目指したライフスタイル変革のために活かしてもらいたいと願っています。

（2021年5月22日

聞き手・渡辺明）

# 地図読み 迷入

監修・村越眞  
宮内佐季子  
小泉成行

Lesson 146

## 記録のための地図活用 山行前の準備2

第2回

前回「地図の準備ができたなら地図を眺めて地形をイメージしておこう」と書いたが、等高線の読み取りが得意でなければそう簡単ではないだろう。そんなときは概念図を描いて視覚的に捉えやすくとよい。

概念図を描くときには、方向や距離を正確にするため、地図に薄い紙を重ねて描くか、PCで地図画像の上に描いて後から地図を消す。全体像を把握するのが目的なので、1枚の紙に収まるように、長距離を歩く場合には縮小した地図、小縮尺（1：50000など）の地図など状況に応じた地図を使う。

概念図に必ず記載したいのは、

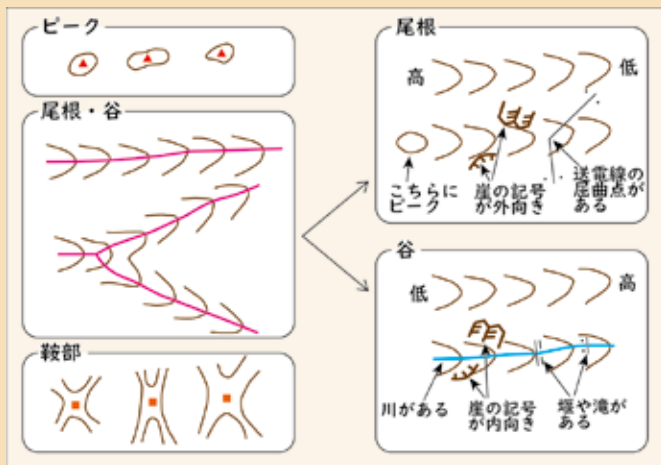
方角、縮尺もしくは尺、尾根、谷、予定ルート、エスケープルート、重要な地名（山頂、分岐、登山口、バス停など）。山小屋、水場、使う可能性のある道路もあれば描いておく。尾根・谷以外のものは元の地図から写し取れるから問題ないだろう。携帯電話のサービスエリアも分かれば描いておく。とよいが、送受信できるバンドによってはサービスエリア内でもつながらないこともあるので注意が必要だ。

### 概念図を自分で描く

尾根・谷は等高線のパターンから読み取り、線を引いて行く。

そのためにはまずピークに印をつける。ピークは山頂などのように周りに高くなっているところ、中に他の等高線が入っていない、いちばん内側にある閉じた等高線で描かれる（図1の▲）。次にピークからのびる尾根線を引く。尾根は線状に高くなっているところで、等高線では図1の■のようなパターンの等高線で描かれている。谷も同じパターンで描かれているので、図1を参考に尾根か谷か判断するとよい。区別が難しければ前回紹介した赤色立体図などを

図1 尾根・谷の描き方



を使って尾根なのか谷なのか調べるのもよいが、図1の判断方法が身に付けばたいの地形は瞬時に区別がつくようになるので粘り強く地図から判断材料を探すのもお勧めだ。

尾根道を歩いているときに、



図4



図2



図3



図5



図6



尾根を登りきったところにピークがあり、ピークから尾根を下つてまた尾根道が登りに転じるところが鞍部（コルともいう）である。鞍部は、等高線では図1の□のようなパターンで描かれている。以上のことを元に、図2に尾根線（桃色）、谷線（水色）を引くと図3のようになる。

図4の上に概念図を描いたもの、図6が下絵の地図を消した概念図。尾根を赤線（ひときわ高い尾根は太くしてある）、谷を青線、道路を真ん中が茶色い二条線、予定ルートを黒破線、エスケープルートを黒実線で描いた。

概念図が描けたら、全体の地形のつながりを確認し、ルートやエスケープルートがどのようなどころを通っているか確認しておこう。



# 山岳同人・五色の峰

香川県勤労者山岳連盟



紅ノ峰「ルーキーフェース」(2020年12月)

里山から海外登山まで  
主に岩登りを中心に活動

2016年3月に結成された五色の峰は、高松市と坂出市にまたがっている五色台の5つの峰から名称を考えました。里山から海外登山まで、幅広く追及する会です。主に、岩登り(ゲレンデからアルパインを志向)を中心に活動しています。

月1回の集会は自宅で行い、会報を2箇月に1回発行しています。

会員同士の連絡体制としては、計画書を常に全員がチェックできるようにメーリングリストを利用しています。会員数は現在11名で、平均年齢が50・5歳。20代が2名、30代が1名います。香川県勤労者山岳連盟の救助隊に所属している者もいます。勤務の関係で平日に個人山行している会員もいて、主に冬季の八ヶ岳や、伯耆大山、無雪期の四国の山に登ったりしてい

ます。里山を登っている者もいます。

活動拠点・紅ノ峰から  
四国や九州の岩場をめぐる

会の主な活動としては、高松市内にある紅ノ峰のゲレンデで、基本的には1年中、毎週土曜日に登っています。幅は100mで、高さは20mほど、安山岩です。古くから登られている岩場で、古いハーケンやボルトが残っています。かつては、海外登山を目指す者たちが登っていました。冬の季節風が吹いて寒いときには、東側のエリアが暖かいです。夏の暑い

労山をつなぐ  
ネットワーク  
山の仲間を結ぶ  
会・クラブ紹介

27

関西のメンバーとカナダ・スコーミッシュにて



香川県三豊市の紫雲出山にて(2021年2月)



ときは、「早朝クライミング」と称して、朝7時から登ることもあります。

かつての人工ルートがフリー化され、1988年には、一応、フリールートの開拓が終了したのを契機に、『岩と雪』誌にルー

ト図が掲載されました。2011年には、JFAによるリポルトが行われ、『日本100岩場』にフリールートのみ掲載されました。全てのルートを合わせる

会のブログの2020年の4月から5月にかけて掲載しています。

新人には、最初は、簡単な所



銚岳「大長征ルート」(2021年5月)



中国地方・甲ケ山にて(2020年10月)

をトップロープで登らせます。ローワダウンの際に、恐怖を感じない者は、岩登りに向いているといえます。入会して1年足らずで、5・10台のルートをリードする新人さんもいます!

また、ここで年に1回登山道整備も行っています。

このほか、県内には、五色台の反対側に大屋富おやぶの岩場があります。スケールは大きいですが、中央部は浮石があつて、登攀不可能です。奥には、5・10台のルートがあります。また、小豆島には、古くからの岩場の拇岳と、花崗岩のルートが100以上ある吉田の岩場と仁寿峰にすぼんがあり、船を

使って年に2回以上通っています。

四国では、高知にある石灰岩の岩場で、吹井ふけいの岩場や鬼岩屋に何回か通っています。愛媛には、有名な石鎚・北壁と瓶ヶ森・西壁があります。徳島には、日和佐に海岸の岩場があります。岡山の備中の岩場にも行きました。今年5月には、九州の岩場巡りということで、銚岳の「大長征ルート」11Pと、比叡山の「I峰・第1スラブ・ノーマルルート」9Pと、3人でマルチを楽しんできました。

また、「アルパインはアプローチが勝負」なので、月1回は標

高1000m以上の四国の山を歩いています。花を愛でるのも楽しみです。残雪期には立山や唐松岳にも登りました。個人的には、2016年に海外のヨーロッパアルプスに行き、メンヒヤウングフラウに登ったり、シャモニではアルパインを楽しみました。2018年にはカナダのスコミッシュでクラックを堪能しました。

### コロナ対応&今後の目標

会のコロナ対策としては、2020年4月8日から5月22日まで紅ノ峰の岩登りを自粛しました。ブログでは、ロープワークの特集や、香川の岩場の概要をルート図も含めて紹介の記事などを掲載しました。

今後、個人の目標としては紅ノ峰での登攀能力の現状維持。会としては、若手のアルパインクライマーの養成です。

山岳同人・五色の峰 代表) (宮武淳)

四峰からなり、どの峰にも中世から近世の  
砦跡や城跡が残る

## 天空の城・備中松山城を頂く歴史の山

盛重忠行

倉敷ハイキング倶楽部／岡山



臥牛山の全景

高梁市の北側に城山がそびえている。正式な名は臥牛山。「天空の城」として秋から冬にかけて雲海に浮かぶ備中松山城天守が有名。この名の由来は西側から見るとちようど大きな牛が寝そべっているように見えるからだ。南側から順に、前山が頭、小松山が肩、天神山が背中、そして大松山が腰と尻。ここには鎌倉時代に最初の砦が築かれていた。その麓には江戸時代御根小屋と呼ばれた屋敷群があり当時の政庁、地領主の住居で、藩政改革に尽力し、成功させた儒学者の山田方谷もここに勤めていたと言われている。

そこで臥牛山の四峰、縦走コースを紹介したい。登山口は臥牛山南麓、JR備中高梁「中州橋」を渡ると、登城道と書いた壁のある所。登城道を登り四峰最初の前山へ。縦林の中に石段を登るとふいご峠に着き、観光客用バスが発着する。すぐ前が前山、次は天守のある小松山をめざす。天然の岩壁と調和した石垣の雄美さに目を見張る小松山備中松山城に到達。天

守の裏に回り、二重櫓下から丸太階段を下り土橋を渡る、登りが続き、ヒノキ林に入り天神の丸に着く。臥牛山の最高地点487mで藩主が領民の平穏を祈ったところ。この先大池まで下って最後の峰の大松山丸に到達する。鎌倉時代、この峰に最初の砦が築かれて以来800年近くに亘る備中松山城の歴史が始まる。四峰縦走はここまでだが三角点のある峰まで、足を延ばせば、大池から北側の谷間の番所、切通りまで下ると備中松山城の北の端、急坂を北に登り返し、尾根道に出て北に進むと、林の中に明治時代に設置された三等三角点がある臥牛山北峰の三角点峰だ。更に植林帯を北に下り旧高梁北小学校の石柱を見ると間もなく作業用車道と合流する。帰りは作業用車道を南に進み、平成の大吊橋を渡り、大池から城経由で来た道を帰る。(歩程

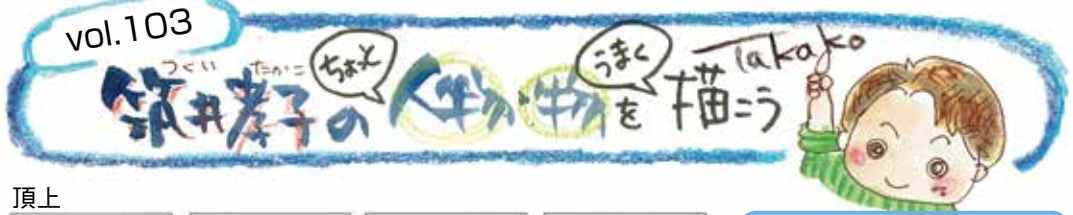


ⓧ 自家用車：国道180号高梁大橋交差点を東進。約400mでJR備中高梁駅、更に400mほど北進して高梁市役所北駐車場。  
公共交通機関：JR伯備線備中高梁下車。徒歩で登山口まで約5分。

📞 高梁市産業経済観光課 TEL 0866-21-0217

📍 交通 🗨️ 問い合わせ

vol.103



頂上



簡単にスケッチで  
山を描こう (鉛筆 2B)

1. 頂上を描きたい位置から描き始める
2. 頂上から尾根を描いていく。できるだけ直線で角々と描く
3. 線は斜め線で描いていく
4. 尾根のところからの山の線もまっすぐに描く
5. 後ろの山は前の山より薄く描く



## あらかると

### 滝を見る

石井光造



八月の山では沢歩きの思い出が多い。沢歩きの怖さを知ったのは、赤石岳を下った小渋川の徒渉で流されたときだった。荒川本流真ノ沢で、千丈ノ滝から滝壺へ落ちた記憶は今も残る。五十代までは滝は登るもので、見るものではなかった。

印象に残るのは、いつか見てみたいと思いつけた森吉山赤水沢の入り口にある桃洞ノ滝である。水の中を歩き続ける沢にも魅力はあったが、沢の奥に独特の姿で落ちていた(右写真)。

ノルウェーのシュツピッターシュツレンという登山基地でホテルの裏側に見えていたシュツピッター滝(フォッセン)は、いつも霧がかかり怖いような気がした。氷河から直接落ちてくる滝だった(中写真)。

ニュージーランド南島のアバランチピーク(雪崩峰の意味、一八三三m)をピストン登山し、ふらふらになって下山、登山口背後のデビルズパンチポールス滝(一三一m)を見た時の安堵感は忘れられない(左写真)。



No.235

## “木道のキズ” ストックのキャップについて

笹原芳樹

元カモシカスポーツ本店店長



### ストックキャップの歴史

左2本が30年前の持ち運ぶ時に人にキケンがないための物。中央は浅いキャップで、持ち運びと山歩き時に両用できたが、山ではずれた。右2本は深型の現在の物、レキ社とブラックダイヤモンド社どちらも装着可能。他メーカーのは買った店へ行くか、現品を持参して購入した方が良いかも。



### ブラックダイヤモンド社・ ディスタンスシリーズの先

使用者が多いオリタタミ式のコンパクト収納タイプの先っぽだが、左は購入時のタイプでそのままキャップせず使用できる軽量版。ただしすり減ってくるので、たまに交換すべし。真ん中は付属のグリップ力の強い金属製スパイクと専用ゴムキャップ（プロテクター）、右は専用キャップ装着時。個人的に最近同モデルを良く使うが、スパイクでの使用時にはゴムキャップがすぐ出せるようにしている。場所によって使い分けよう。

山ですごくうれしいことが今年4月にあったものの、その1ヶ月ほど先には悲しい思いになってしまった事があるんです。：場所は東京の超メジャーな山、高尾山です。何ヶ月の間、道の整備のため通行止めとなっていた6号路（注）は、コース中では最も私が好きなハイキングコースです。

特にここ数年台風やら大雨で登山道は何ヶ所か崩れ、そのつど短期間の閉鎖となっていたりしたものの、今回の通行止は長すぎると思っていたのです。

そんなおり4月2日に大昔からの山仲間と陳馬山から縦走し高尾山手前でサクラやミツバツ



高尾山頂のオリンピックエンブレム良いのだから、悪いのだから…まあ、人気はあるよね。中央の山が大室山で、その右に富士山があるものの今一見えないかな？



6号路の長々と続く木道階段計算された作りの、すばらしい階段で非常に歩き易くなった。ところで6号路は3～4月にかけてタゴガエルが鳴く中ネコノメソウの仲間やヤマルリソウ、ニリンソウが咲き始めチゴユリ、シュラン、ジュウニヒトエ等と続々と咲きだし、5月中旬からのラン科のセッコクも圧巻、夏もイワタバコ、タマアジサイ等々とオススメコースなのだ。



残念な木道  
たった1ヶ月程でストックのスパイク穴があっちこちちにできてしまった。1年後にはどうなっている事やら…。

ツジの花見をする機会に恵まれました。その時、3月30日に6号路が開通したとの案内を目にしたのです。いてもたってもいられず数日後には高尾山口駅に向かっていました。

歩き出すと案内看板はすべて新品で、ベンチもきれいですつきり。崩れたやつっかいな所は木橋（石突）のキズが目立ち始めてい

となりいたれりつくせりです。そして頂手前までの長い登りに木道の香りただようとても歩き易い木道階段という気持ちの良き道となっていたのです。しかし、開通1ヶ月も過ぎると悲しいことにストック（トレッキングポール）のスパイクが強く安全だと考えます。登山道を大切にしながら、安全で楽しい山歩きをしたいものです。

（注）1～6号路の他、尾根コース等もあるが、私は6号路の沢コースがオススメです。まあすべての道を歩いてほしいけどね。





# 大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ  
出来る品揃えと接客サービスで  
安全快適な山行をサポート。

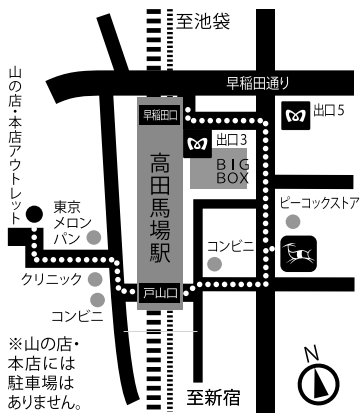


カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン! / こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

## 山の店・本店

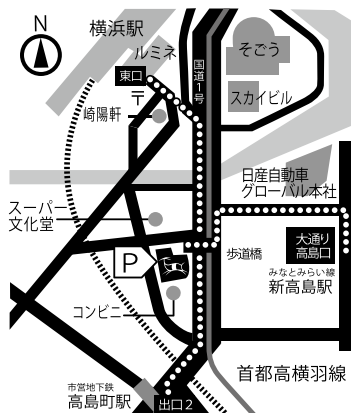
J R高田馬場駅から徒歩3分



※山の店・  
本店には  
駐車場は  
ありません。

## 山の店・横浜店

J R横浜駅東口から徒歩5分



## 山の店・松本店

松本ICから約6km



## 登山用品専門店

# カモシカスポーツ

本店・横浜店 OPEN 11:00 CLOSE 20:00(月~金)/19:00(土日祝)

松本店 OPEN 10:30 CLOSE 19:00

- 山の店・本店 TEL03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウィズビル1F
- 山の店・松本店 TEL0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

# 日本勤労者山岳連盟 60年の歩みがよくわかる記念誌と年表ができました

60周年記念講演会とレセプションでお渡しした、記念誌「労山の60年」と「60年史年表」を希望する皆さんにお分けします



## 労山の60年

### 主な項目

- 第一章 労山の誕生と確立 1960～1969年
- 第二章 急速な会員拡大と諸分野の活動の確立 1970～1979年
- 第三章 一時的停滞を乗り越えて 1980～1989年
- 第四章 中高年登山ブームのなかで 1990～1999年
- 第五章 労山の会員数2万人突破 2000～2009年
- 第六章 新しい発展をめざして 2010年～  
(付) 略年表、趣意書、歴代役員など

**1冊 500円 (送料込)**

A4判 120ページ (手渡しの場合は400円)

## 60年史年表

**1冊 200円 (送料込)**

A4判 74ページ (手渡しの場合も同額)

セットで購入の場合

1セット 600円 (送料込) (手渡しの場合は500円)  
※上記の価格は、何冊ご注文いただいても同一です。

お申し込みは全国連盟事務局まで

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

TEL 03-3260-6331

FAX 03-3235-4324

メール [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp)